EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER PUBLICATION DATE

09077791 25-03-97

APPLICATION DATE APPLICATION NUMBER 08-09-95 07255843

APPLICANT: NIPPON KAYAKU CO LTD:

INVENTOR: SUGIHARA EIKO:

INT.CL.

: C07K 5/027 A61K 38/00 // A61K 35/56

TITLE

: PEPTIDE DERIVATIVE AND ITS USE

Π

ABSTRACT: PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a new peptide derivative (salt) comprising (iso)dolastatin H. epi(iso)dolastatin H or one of their salts, exhibiting a strong multiplication- inhibiting action against human cervical carcinoma cells, and useful as an active ingredient for anticancer medicines, etc.

> SOLUTION: This new peptide derivative comprises dolastatin H, isodolastatin H, epidolastatin H or epiisodolastatin H of formula I (Me is methyl; X is a group of formula II, etc..) or one of their salts. The peptide derivative exhibits a strong multiplication-inhibiting action against Hela S2 (human cervical carcinoma) cells and is useful as an active incredient for anticancer medicines, etc. The peptide derivative is obtained by grinding the internal organs of collected Dolabella auricularia together with methanol, leaving the ground product at room temperature for three months, filtering mixture, concentrating the filtrate, extracting the obtained water mixture with ethyl acetate, concentrating the extract, dissolving the obtained oily product in methanol-water, defatting the solution with hexane, and subsequently purifying the defatted product by silica get column chromatography and high performance chromatography.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報(A)

(II)特許出願公開番号 特開平9-77791

(43)公開日 平成9年(1997)3月25日

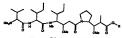
C07K 5/027 C07K 5/027 A61K 38/00 ADU A61K 35/56 #A61K 35/58 37/02 ADU	A 6 1 K	5/027 38/00	識別記号 ADU	庁内整理番号		35/56	ADU	技術表示箇	F
-----------------------------------------------------------------------------	---------	----------------	-------------	--------	--	-------	-----	-------	---

審査請求 未請求 請求項の数9 FD (全30頁)

(21) 出願番号	特顯平7-255843	(71)出版人	000004086
(22)出顧日 平成7年(1995) 9月8日 特許法第30条第1項適用申請有り 平成7年3月13日 社団法人日本化学会発行の「日本化学会第69春季年会 1995年韓漢予篠集▲ⅠⅠ♥」に発表		(72)発明者 (72)発明者 (72)発明者	日本化業株式会社 東京都千代田区富士見1丁目11番2号 山田 制之 愛知東名古屋市千種区博本町2-20 木村 職子 東田区仲権上1-26-17-202 岡田 東田
		(72)発明者	東京都北区志茂 3 -33 - 5 杉原 英光 東京都北区志茂 3 -29-15

(54) 【発明の名称】 ペプチド誘導体及びその用途

(57)【要約】 (修正有) 【解決手段】一般式20のペプチド誘導体であるドラス タチンH、イソドラスタチンH、エビドラスタチンH、 エピイソドラスタチンH又はその薬学的に許容される 塩。



(Meはメチル基を示し、Xは下記基(X1)又は(X 2)を示す。)



【効果】Hela S₃ (ヒト子宮頸癌)細胞に対して、強い増殖阻害作用を示し、これらは制癌剤の有効成

分として有用である。

Ĭ

AND THE RESERVE OF THE PROPERTY OF THE PROPERT

【化1】

【特許請求の範囲】 【請求項1】式(20)

(20)

(式中、Me はメチル基を示し、Xは下記基(X1)又は(X2)を示す。)【化2】

OH で示されるペプチド誘導体又はその薬学的に許容される

塩。 【請求項2】XがX1を示す請求項1項記載のペプチド

誘導体又はその薬学的に許容される塩。 【請求項3】 Xが×2を示す請求項1項記載のペプチド 誘導体又はその薬学的に許容される塩。

【請求項4】次の物理化学的性質を有するドラスタチン H又はその薬学的に許容される塩。

(a) 形状は無色無矩形象末で、メタノール、エタノール、アセトン、アセトニトリル、ジメチルスルホキシド、酢酸エチル、クロロホルム、塩化メチレン、及びベンゼンに可溶であり、(b)シリカゲル環層クロマトグラフィー(販開溶媒:CHCl₃ーCH₃OH(10:1)]でR(値0:60を示し、(c)高速液状クロマトグラフィー(Develosil ODS10(20×250mm)、CH₃CN-0.01MNH₄OCOCH₃(7:3)、5mL/min、UV(215nm)使出)で保持時間々2分を示し(d)比較化度

(α) ***。 - 48.0* (с0.0614. CH, OF, OF)
H) を有し(e) 低分解能下 A B質量分析法により測定して、746の分子量 (769 (MNa*.100).657 (100).559 (5).428 (12).10
0(62))を有し、(f) 3430 (br).173
0.1665.1635.1495.1455.141
0.1255.1095.1060cm*に主なピーク
上示す赤外吸収エペクトル (クロホルム溶液)を有し、(ェ)メタノール溶液中で208nm (e2300)に実外吸収極大能で示し、(h) 0.86 (3H. t, J=7.71z)、0.88 (3H. t, J=7.71z)、0.88 (3H. t, J=7.

7Hz), 0.93(1H, d, J=7, 0Hz), 0.96 (3H, d, J=7.0Hz), 1.06 (3 H, d, J=6.6Hz), 1.06(1H, m), 1. 11 (1H, d, J=7. 0Hz), 1. 21 (1 H. m) . 1. 23 (1H, m) . 1. 30 (3H, d, J=7.0Hz), 1.41(1H, m), 1.4 8 (1H, m), 1, 57 (1H, m), 1, 63 (1 H, m), 1. 71 (1H, m), 1. 86 (1H. m) 1. 90 (1H, m), 1. 91 (1H, m), 2. 02 (1H, m), 2. 11 (1H, m), 2. 1 9 (6H, s), 2. 30 (1H, d, J=7. 0), 2. 57 (1H. dq, J=10. 3, 7. 0Hz) 2. 58 (1H, dd, J=13. 5, 6, 6Hz) 2. 73 (3H, s), 2. 84 (1H, dd, J=1 3. 5. 6. 6Hz), 2. 84 (1H, m), 3. 0 0 (1H, m), 3, 25 (3H, s), 3, 27 (3 H, s), 3. 76 (1H, dd, J=11.0.1. 9Hz), 4. 12 (1H, m), 4. 28 (1H, d dd, J=6. 3, 4. 2, 1. 5Hz), 4. 29 (1H, dd, J=10. 3, 1. 5Hz), 4, 35 (1H, m), 4, 60 (1H, dd, J=11, 0)9. 5Hz), 4. 99 (1H, dd, J=8, 8, 8. 1Hz), 4. 99 (1H, m), 5. 26 (1 H, d, J=3.4Hz) 6.72(1H, d, J=8.8Hz), 7.07(1H, m), 7.09-7. 21 (4H, m) にシグナルを示す重ベンゼン中の60 OMH2のプロント核磁気共鳴スペクトルを有し、 (i) 11.0(q), 11.0(q), 14.9 (q), 15, 6 (q), 16, 1 (q), 18, 4 (q), 20.3(q), 24.3(t), 25.0 (t), 25, 0(t), 26, 1(t), 27, 9 (d), 32.0(q), 33.4(d), 37.7 (d), 38.0(t), 40.1(t), 42.7 (q), 45, 5 (d), 47, 9 (t), 53, 1 (d), 57.0(d), 57.7(q), 60.3 (d), 61, 1(q), 69, 5(t), 70, 2 (d), 76.2(d), 78.8(d), 81.6 (d), 126.4(d), 128.5(d), 12 9.8(d), 138.9(s), 170.7(s),

171.1(s), 173.4(s), 174.0 (s) にシグナルを示す重ベンゼン中の100MHz炭 素-13核磁気共鳴スペクトルを有する。

【請求項5】次の物理化学的性質を有するイソドラスタ チンH又はその薬学的に許容される塩。

(a) 形状は無色プリズム状結晶 (融点84~85℃) で、メタノール、エタノール、アセトン、アセトニトリ ル、ジメチルスルホキシド、酢酸エチル、クロロホル ム、塩化メチレン、及びベンゼンに可溶であり、(b) シリカゲル薄層クロマトグラフィー (展開溶媒: CHC la - CHa OH (10:1)]でRf値0.60を示 し、(c)高速液体クロマトグラフィー [Develo sil ODS10 (20×250mm), CH2 CN -0. 01MNH4 OCOCH2 (7:3) 5mL/ min、UV (215nm) 検出] で保持時間46分を 示し(d)比旋光度〔α〕²⁸₀ -47.6(c 0.05 14, CH₃ OH)を有し、(e)低分解能FAB智量 分析法により測定して、746の分子量 (769 (MN a*, 100), 657(8), 559(6), 428 (11), 100(50))を有し、(f)3430 (br), 1725, 1665, 1635, 1495, 1455, 1410, 1255, 1095, 1060c m-1に主なピークを示す赤外吸収スペクトル (クロロホ ルム溶液)を有し、(g)メタノール溶液中で208n m (ε23000) に紫外吸収極大値を示し、(h) 0.85(3H, t, J=7.3Hz), 0.87(3 H, t, J=7.3Hz), 0.94(1H, d, J=7. 0Hz), 0. 96 (3H, d, J=7, 0H z), 1. 05 (3H, d, J=6.6Hz), 1. 0 7 (1H, m), 1.11 (1H, d, J=7.0H z), 1. 20 (1H, m), 1. 22 (1H, m), 1. 22 (3H, d, J=7. 0Hz), 1. 40 (1 H. m), 1. 47 (1H, m), 1. 62 (1H, m) 1.63(1H, m) 1.70(1H, m) 1.86(1H, m), 1.90(1H, m), 1.9 2(1H, m), 2.01(1H, m), 2.10(1 H, m), 2. 19 (6H, s), 2. 29 (1H. d, J=7.0Hz), 2.51 (1H, dq, J=1 0.6, 7.0Hz), 2.73(3H, s), 2.7 7 (1H, dd, J=14.0, 6.2Hz), 2.8 3(1H, m), 2. 93(1H, dd, J=14) 0, 7.5Hz), 3.01(1H, m), 3.26 (3H, s), 3. 27 (3H, s), 3. 80 (1 H, ddd, J=13.0, 7.0, 6.2Hz), 3. 90 (1H, ddd, J=13. 0, 7. 5, 2. 4Hz), 4. 13 (1H, m), 4. 20 (1H, m), 4. 27 (1H, dd, J=10, 6, 1, 1H z), 4. 98 (1H, dd, J=8. 8, 7. 6H z), 4. 99 (1H, m), 5. 21 (1H, dd. J=7.5, 7.0Hz), 5.54(1H, m),

6.68 (1H, d, J=8.8Hz), 7.03 (1 H, m), 7.10(2H, m)7.12(2H, m) にシグナルを示す重ベンゼン中の600MHzのプロン ト核磁気共鳴スペクトルを有し、(i)10.9 (q), 11.0(q), 14.8(q), 15.6 (q), 16.1(q), 18.4(q), 20.3 (q), 24.3(t), 25.0(t), 25.0 (t), 26.1(t), 27.9(d), 32.0 (q), 33. 2(d), 37. 1(d), 37. 1 (t), 37.9(t), 42.7(q), 46.2 (d), 48.0(t), 53.1(d), 56.9 (d), 57.8(q), 60.2(d), 61.2 (q), 63.4(t), 76.1(d), 76.4 (d), 79.0(d), 81.8(d), 126.6 (d), 128.5(d), 129.8(d), 13 7. 7(s), 170. 7(s), 171. 1(s), 172.9(s)、174(s) にシグナルを示す重べ ンゼン中の100MHz炭素-13核磁気共鳴スペクト ルを有する。

【請求項6】次の物理化学的性質を有するエピドラスタ チンH又はその薬学的に許容される塩。

(a)形状は無色無定形粉末で、メタノール、エタノー ル、アセトン、アセトニトリル、ジメチルスルホキシ ド、酢酸エチル、クロロホルム、塩化メチレン、及びベ ンゼンに可溶であり、(b) 比旋光度 [α] ²⁶g - 5 2.1°(c0.0645, CH3 OH)を有し、 (c)低分解能FAB分析法により測定して、746の 分子量 (769 (MNa+, 3)、747 (MH+, 5), 100(100))を有し、(d) 3430(b r), 1730, 1665, 1635, 1495, 14 55, 1410, 1245, 1095, 1060 cm-1 に主なピークを示す赤外吸収スペクトル (クロロホルム 溶液)を有し、(e) 0.86(3H, t, J=7.5 Hz), 0.89(3H, t, J=7.5Hz), 0. 97 (6H, d, J=6.8Hz), 1.04 (3H. d, J=6.6Hz), 1.06(1H, m), 1.1 2(3H, d, J=6.6Hz), 1.23(2H, m), 1. 34 (3H, d, J=7.0Hz), 1. 4 3 (1H. m), 1. 47 (1H. m), 1. 59 (1 H, m), 1.66 (1H, m), 1.71 (1H. m), 1.87 (2H, m), 1.91 (1H, m), 2. 02 (1H, dqq, J=7.0, 6.8, 6.6 Hz), 2.10(1H, m), 2.20(6H, s), 2. 30 (1H, d, J=7. 0Hz), 2. 5 8 (1H, dq, J=10.6, 7.0Hz), 2.7 2 (3H, s), 2. 78 (1H, dd, J=13. 7. 5. 5Hz), 2. 83 (1H, m), 3. 01 (1H, m), 3. 03 (1H, dd, J=13. 7, 8. 1Hz), 3. 26 (3H, s), 3. 29 (3 H, s), 3.68(1H, dd, J=11.0, 6.

では、これでは、これでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのできた。10mmのでは、10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10mmのできた。10

m). 4. 27 (1H, dd, J=10.6, 1.1H z), 4.82(1H, dd, J=11.0, 2.2H z), 4, 98 (1H, m), 5, 00 (1H, m), 5. 21 (1H, d, J=6. 2Hz), 6. 72 (1 H, d, J=8.8Hz), 7.11(1H, m), 7. 20 (2H, m), 7. 31 (2H, m) にシグナ ルを示す重ベンゼン中の600MHzのプロトン核磁気 共鳴スペクトルを有し、(f)11.0(q),11. 1 (q), 14, 7 (q), 15, 6 (q), 16, 1 (q), 18, 3 (q), 20, 4 (q), 24, 3 (t), 24.9(t), 25.0(t), 26.1 (t), 27.9(d), 32.0(q), 33.4 (d), 37, 7 (d), 38, 0 (t), 40, 3 (t), 42.8(q), 45.6(d), 47.9 (t), 53. 1 (d), 57. 1 (d), 57. 9 (d), 60, 2 (d), 61, 1 (q), 69, 1 (t), 70.8 (d), 76.3 (d), 78.8 (d), 81.7 (d), 126.4 (d), 128. 5 (d), 129. 9 (d), 139. 3 (s), 17 0.3(s), 171.1(s), 173.4(s), 173.9(s) にシグナルを示す重ベンゼン中の10 OMHz炭素-13核磁気共鳴スペクトルを有する。 【請求項7】次の物理化学的性質を有するエピイソドラ スタチンH又はその薬学的に許容される塩、 (a) 形状は無色無定形粉末で、メタノール、エタノー ル、アセトン、アセトニトリル、ジメチルスルホキシ ド、酢酸エチル、クロロホルム、塩化メチレン、及びベ ンゼンに可溶であり、(b) 比旋光度 [α] 26n - 5 3.8°(c0.0520, CH₃OH)を有し、 (c) 低分解能FAB質量分析法により測定して、74 6の分子量 (747 (MH*, 20), 100 (10 0)) を有し、(d) 3430 (br), 1725, 1 665, 1635, 1495, 1455, 1410, 1 095cm-1に主なピークを示す赤外吸収スペクトル (クロロホルム溶液)を有し、(e) 0.88(6H. t, J=7.3Hz), 0.97(3H, d, J=7. 0Hz), 0.98(3H, d, J=6.6Hz), 1. 07 (1H, m), 1. 08 (3H, d, J=7. 0Hz), 1. 12 (3H, d, J=6.6Hz), 1. 25 (1H, m), 1. 30 (3H, d, J=7. OHz), 1, 37 (1H, m), 1, 43 (1H, m), 1.57 (1H, m), 1.60 (1H, m), 1.74 (1H. m), 1.77 (1H. m), 1.8 9 (1H, m), 1, 91 (1H, m), 2, 04 (1 H, dqq, J=7.0, 7.0, 7.0Hz), 2.21 (6H, s), 2, 22 (2H, m), 2, 33 (1H, d, J=7.0Hz), 2.56(1H, d)q, J=8.6, 7.0Hz), 2.78(3H, s), 2, 92 (1H, m), 3, 01 (1H, dd,

4Hz), 4.14(2H, m), 4.18(1H,

J=13, 5, 7, 7Hz), 3, 07 (1H, dd. J=13.5, 6.6Hz), 3.10(1H.m). 3. 20 (3H, s), 3. 30 (3H, s), 3. 6 4 (1H, dd, J=12.6, 4.9Hz), 3.9 2 (1H, dd, J=12.6, 2.4Hz), 4.1 0 (1H, dd, J=8, 6, 2, 0Hz), 4, 16 (1H, m), 4. 57 (1H, ddd, J=8.6.4. 0. 2. 0Hz), 5. 00 (1H, m), 5. 0 2(1H, m), 5. 24(1H, m), 6. 79(1 H, d, J=9.2Hz), 7.04(1H, m),7. 12 (2H, m), 7. 22 (2H, m) にシグナ ルを示す重ベンゼン中の600MH2のプロトン核磁気 共鳴スペクトルを有し、(f)11.0(q).11. 1 (q), 13. 1 (q), 15. 7 (q), 16. 2 (q), 18, 4 (q), 20, 3 (q), 24, 7 (t), 25.1(t), 24.9(t), 26.1 (t), 27, 9 (d), 31, 8 (d), 33, 2 (d), 36.6(t), 37.6(d), 38.1 (t), 42.7(q), 43.4(d), 47.8 (t), 53.1(d), 57.4(d), 57.9 (q), 60. 6 (d), 60. 8 (q), 62. 5 (t), 76.3 (d), 77.2 (d), 79.2 (d), 82.0(d), 126.7(d), 128. 7 (d), 129. 9 (d), 137. 9 (s), 17 0.3(s),171.1(s),173.8(s). 174.0(s) にシグナルを示す重ベンゼン中の10 OMHz炭素-13核磁気共鳴スペクトルを有する。 【請求項8】請求項1,2,3,4,5,6又は7記載 の物質を有効成分とする医薬。

【請求項9】請求項1,2,3,4,5,6又は7記載の物質を有効成分とする抗腫瘍剤。

【発明の詳細な説明】 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は抗腫瘍活性を有し、 医薬品として期待される新規ペプチド誘導体又はその薬 学的に許容される塩及びその薬学的用途に関する。 【0002】

【従来の技術】現在、抗腫病剤には結婚圏の核離代謝を 阻害するアルキル化剤(代謝17 1553~154 4、1980)、拮抗阻毒剤(感と化学療法10 10 29~1086、1983)、抗生物質および植物アル カロド (山村地一・移り継ぎ バガン」251~27 0、1979、共立出版)等がある。これらの抗腫瘍剤 は、各々において効果を発揮しているが、なお十分では ない。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】近年、海洋生物中に構造ならびに生物活性に興味深い多くの新規物質が含まれることが明らかとなり、これらの中から抗離瘍活性を示す新規物質の抗腫瘍消化しての開発が望まれる。

[0004]

【課題を解決するための手段】本発明者らは、海洋生物中より新規が直路物質を見い出すべく数差研究の結果、日本産タツキミガイ(Dolabella auricularia)の有機溶媒結出物から新規特質ドラスタチンH、イソドラスタチンHを見いだし、さらにその全合成に成功し、又、ドラスタチンH、エピイソドラスタチンHの誘導体 エピドラスタチンH、エピイソドラスタチ

ンHの全合成法を見い出し、本発明に到達したものである。

【0005】即ち、本発明は、

(1)式(20)で示されるペプチド誘導体又はその薬 学的に許容される塩、

[0006] [化3]

【0007】式中、Meはメチル基を示し、Xは下記基 (X1) 又は(X2)を示す。)

【0008】 【化4】

【0009】(2)次の物理化学的性質を有するドラスタチンH又はその薬学的に許容される塩、

【0010】(a) 形状は無色無定形物末で、メタノール、エタノール、アメール、アメール、アメール、ジメチルスルホキシド、酢酸エチル、クロロホルム、塩化メチレン、及びペンゼンに可溶であり。

[0011] (b)シリカゲ/将環クロマトグラフィー (展開溶媒: CHC1, CH3, OH (10:1)]でR (値0.60を示し、(c) 高速液分 ロマトグラフィー (Develosil ODS10(20×250mm)、CH3, CN-0.01MNH、OCOCH 2(7:3)、5mL/min、UV(215nm)検

出)で保持時間42分を示し [10012] (4) 比較光度(α) 18,0 + 48.0 * (0.0 614, CH,0 H)を有し、(e) 低分解 能FA B質量分析法により測定して、746の分子量 (769(MNa*.100),657(10),559(5),428(12),100(62),を有し [10013] (f) 3430(br),1730,165,1635,1495,1455,1410,125,1095),1065,1060cm*に主なピークを示す赤外吸収スペクトル(クロホルム溶液)を有し、(g)

メタノール溶液中で208nm(e23000)に紫外 吸収極大値を示し、

[0014] (h) 0.86 (3H, t, J=7.7H z), 0.88(3H, t, J=7.7 Hz), 0. 93 (1H, d, J=7.0Hz), 0.96 (3H, d, J=7.0Hz), 1.06 (3H, d, J=6. 6Hz), 1.06(1H, m), 1.11(1H. d, J=7.0Hz), 1.21(1H, m), 1.2 3(1H, m), 1. 30(3H, d, J=7.0Hz), 1. 41 (1H, m), 1. 48 (1H, m), 1.57(1H, m), 1.63(1H, m), 1.7 1 (1H, m), 1.86 (1H, m), 1.90 (1 H, m), 1. 91 (1H, m), 2. 02 (1H, m), 2. 11 (1H, m), 2. 19 (6H, s). 2. 30 (1H, d, J=7.0), 2. 57 (1H, dq, J=10.3, 7.0Hz), 2.58(1H, dd, J=13.5, 6.6Hz), 2.73(3H. s), 2.84 (1H, dd, J=13.5, 6.6H z), 2.84(1H, m), 3.00(1H, m), 3. 25 (3H, s), 3. 27 (3H, s), 3. 7 6 (1H, dd, J=11.0.1.9Hz), 4.1 2 (1H, m), 4. 28 (1H, ddd, J=6. 3, 4. 2, 1. 5Hz), 4. 29 (1H, dd, J =10.3,1.5Hz),4.35(1H,m), 4.60(1H, dd, J=11.0, 9.5Hz) 4. 99 (1H, dd, J=8. 8, 8. 1Hz) 4. 99 (1H, m), 5. 26 (1H, d, J=3, 4Hz), 6.72 (1H, d, J=8.8Hz), 7. 07 (1H, m), 7. 09-7. 21 (4H, m) にシグナルを示す重ベンゼン中の600MHzのア ロント核磁気共鳴スペクトルを有し、 [0015] (i) 11.0(q), 11.0(q), 14.9(q), 15.6(q), 16.1(q), 1

1

8. 4 (q), 20. 3 (q), 24. 3 (t), 2 5.0(t), 25.0(t), 26.1(t), 2 7. 9 (d), 32. 0 (q), 33. 4 (d), 3 7.7(d),38.0(t),40.1(t),4 2. 7 (q), 45. 5 (d), 47. 9 (t), 5 3. 1 (d), 57. 0 (d), 57. 7 (q), 6 0.3(d),61.1(q),69.5(t),7 0.2(d),76.2(d),78.8(d),8 1.6(d), 126.4(d), 128.5(d), 129.8(d), 138.9(s), 170.7 (s), 171. 1(s), 173. 4(s), 17 4.0(s) にシグナルを示す重ペンゼン中の100M Hz炭素-13核磁気共鳴スペクトルを有する。 【0016】(3)次の物理化学性質を有するイソドラ スタチンH又はその薬学的に許容される塩、(a)形状 は無色プリズム状結晶 (融点84~85℃) で、メタノ ール、エタノール、アセトン、アセトニトリル、ジメチ ルスルホキシド、酢酸エチル、クロロホルム、塩化メチ レン、及びベンゼンに可溶であり 【0017】(b)シリカゲル薄層クロマトグラフィー 〔展開溶媒: CHC13 - CH3 OH (10:1)〕で Rf値0.60を示し、(c)高速液状クロマトグラフ 1-(Develosil ODS10(20×250 mm), CH3 CN-0. 01MNH4 OCOCH 3 (7:3)、5mL/min、UV(215mm)検 出〕で保持時間46分を示し(d)比旋光度(a)28g -47.6 (c0.0514, CH3 OH) を有し、 【0018】(e)低分解能FAB質量分析法により測 定して、746の分子量(769(MNa+, 10 0), 657(8), 559(6), 428(11), 100(50))を有し、 [0019] (f) 3430 (br), 1725, 16

級収除人権を示し、
[20 20] (h) 0.85 (3H, t, J=7.3H z).0.87 (3H, t, J=7.3Hz).0.9 4 (1H, d, J=7.0Hz).0.96 (3H, d, J=6.6Hz).1.05 (3H, d, J=6.6Hz).1.07 (1H, m).1.11 (1H, d, J=7.0Hz).1.20 (1H, m).1.2 (1H, m).1.2 (1H, m).1.2 (1H, m).1.47 (1H, m).1.40 (1H, m).1.47 (1H, m).1.40 (1H, m).1.40 (1H, m).1.70 (1H, m).1.62 (1H, m).1.62 (1H, m).1.90 (1H, m).1.86 (1H, m).1.90 (1H, m).1.86 (1H, m).2.10 (1H, m).2.10 (1H, m).2.10 (6H, s).2.29 (1H, d, J=7.0Hz).2.51 (1

65, 1635, 1495, 1455, 1410, 12

55, 1095, 1060cm -1 主なピークを示す赤

外吸収スペクトル (クロロホルム溶液)を有し、(g)

メタノール溶液中で208 n m (ε23000) に紫外

H, dq, J=10.6, 7.0Hz), 2.73(3 H, s), 2. 77.(1H, dd, J=14.0, 6.2Hz), 2.83 (1H, m), 2.93 (1H, d d, J=14.0,7.5Hz),3.01(1H, m), 3. 26 (3H, s), 3. 27 (3H, s), 3.80 (1H, ddd, J=13.0, 7.0, 6. 2Hz), 3. 90 (1H, ddd, J=13. 0, 7. 5. 2. 4Hz), 4. 13 (1H, m), 4. 2 0(1H, m), 4. 27(1H, dd, J=10. 6, 1. 1Hz), 4. 98 (1H, dd, J=8. 8, 7. 6Hz), 4. 99 (1H, m), 5. 21 (1H, dd, J=7.5, 7.0Hz), 5.54 (1H, m), 6.68 (1H, d, J=8.8H z) 、7. 03 (1H, m) 、7. 10 (2H, m) 7. 12 (2H, m) にシグナルを示す重ベンゼン中の 600MHzのプロトン核磁気共鳴スペクトを有し、 [0021] (i) 10.9(q), 11.0(q), 14.8(q), 15.6(q), 16.1(q), 1 8. 4(q), 20. 3(q), 24. 3(t), 2 5. 0(t), 25. 0(t), 26. 1(t), 2 7.9(d), 32.0(q), 33.2(d), 3 7. 1 (d), 37. 1 (t), 37. 9 (t), 4 2.7(q),46.2(d),48.0(t),5 3. 1(d), 56. 9(d), 57. 8(q), 6 0.2(d),61.2(q),63.4(t),7 6.1(d), 76.4(d), 79.0(d), 8 1.8(d), 126.6(d), 128.5(d), 129.8(d), 137.7(s), 170.7 (s), 171.1(s), 172.9(s), 174 (s) にシグナルを示す重ベンゼン中の100MHz炭 素-13核磁気共鳴スペクトルを有する。

【0022】(4)次の物理化学的性質を有するエピドラスタナンH又はその薬学的に許容される塩(a)形 状は無色無定形的末で、メタノール、エタール、アセトトトトトトトトリル、ジメチルスルホキシド、酢酸エ チル、クロロホルム、塩化メチレン、及びベンゼンに可 溶であり、

【0023】(b)比絶光度(α)¹⁸。 - 52.1(c 0.0645.CH。OH)を有し、(c)低分解能 A質量分形法により測定して、746の分子量(76 9(MNa*、3).747(MH*,5).100 (100))を有し、 【0024】(d)3430(b*r).1730.1

665.1635.1495.1455.1410.1 245.1095.1060cm*に注文ヒークを示す 赤外級収スペトル(クロコホルム溶液)を有し、 [0025](e)0.86(3H,t,J=7.5H z).0.89(3H,t,J=7.5Hz).0.9 7(6H,d,J=6.8Hz),1.04(3H,d,J=6.6Hz).1.06(1H,m),1.1

のでは、からてあるとのでは、これでは、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10

2 (3H. d. J=6. 6Hz), 1. 23 (2H. m). 1. 34 (3H, d, J=7. 0Hz), 1. 4 3 (1H, m), 1. 47 (1H, m), 1. 59 (1 H. m), 1.66 (1H. m), 1.71 (1H. m), 1.87 (2H, m), 1.91 (1H, m), 2. 02 (1H, dqq, J=7. 0, 6. 8, 6. 6 Hz), 2. 10 (1H, m), 2. 20 (6H, s), 2.30 (1H, d, J=7.0Hz), 2.5 8 (1H, dq, J=10.6, 7.0Hz), 2.7 2 (3H, s), 2, 78 (1H, dd, J=13. 7, 5, 5Hz), 2, 83 (1H, m), 3, 01 (1H, m), 3.03 (1H, dd, J=13, 7, 8. 1 Hz), 3. 26 (3 H, s), 3. 29 (3 H, s), 3. 68 (1H, dd, J=11.0, 6. 4Hz), 4. 14 (2H, m), 4. 18 (1H. m). 4. 27 (1H, dd, J=10. 6, 1. 1H z), 4.82(1H, dd, J=11.0, 2.2H z), 4. 98 (1H, m), 5. 00 (1H, m), 5. 21 (1H, d, J=6. 2Hz), 6. 72 (1 H, d, J=8.8Hz), 7.11(1H, m)7. 20 (2H, m), 7. 31 (2H, m) にシグナ ルを示す重ベンゼン中の600MHzのプロトン核磁気 共鳴スペクトを有し、

[0026] (f) 11.0(q), 11.1(q), 14.7(q), 15.6(q), 16.1(q), 1 8. 3 (q), 20. 4 (q), 24. 3 (t), 2 4.9(t), 25.0(t), 26.1(t), 2 7. 9 (d), 32. 0 (q), 33. 4 (q), 3 7.7(d),38.0(t),40.3(t),4 2.8(q),45.6(d),47.9(t),5 3. 1 (d), 57. 1 (d), 57. 9 (d), 6 0.2(d),61.1(q),69.1(t),7 0.8(d),76.3(d),78.8(d).8 1.7(d), 126.4(d), 128.5(d), 129.9(d), 139.3(s), 170.3 (s), 171. 1 (s), 173. 4 (s), 17 9(s)にシグナルを示す重ペンゼン中の100M Hz 炭素-13核磁気共鳴スペクトルを有する。 【0027】(5)次の物理化学的性質を有するエピイ ソドラスタチンH又はその薬学的に許容される塩、 (a) 形状は無色無定形粉末で、メタノール、エタノー ル、アセトン、アセトニトリル、ジメチルスルホキシ ド、酢酸エチル、クロロホルム、塩化メチレン、及びベ ンゼンに可溶であり、(b) 比旋光度 [α] ²⁶₀ -5

6の分子量(747(MH+, 20), 100(10 0))を有し、 [0028] (d) 3430 (br), 1725, 16 65, 1635, 1495, 1455, 1410, 10

3.8°(c0.0520, CH₃ OH)を有し、

(c) 低分解能FAB質量分析法により測定して、74

95cm⁻¹に主なピークを示す赤外吸収スペクトル (ク ロロホルム溶液)を有し、

[0029] (e) 0.88 (6H, t, J=7.3H z), 0. 97 (3H, d, J = 7.0Hz), 0. 9 8 (3H, d, J=6.6Hz), 1.07 (1H, m), 1. 08 (3H, d, J=7. 0Hz), 1. 1 2 (3H, d, J=6.6Hz), 1.25 (1H, m), 1. 30 (3H, d, J=7.0Hz), 1. 3 7 (1H, m), 1. 43 (1H, m), 1. 57 (1 H, m), 1.60 (1H, m), 1.74 (1H, m), 1. 77 (1H, m), 1. 89 (1H, m), 1. 91 (1H, m), 2. 04 (1H, dqq, J=7. 0, 7. 0, 7. 0Hz), 2. 21 (6H, s), 2. 22(2H, m), 2. 33(1H, d, J =7.0Hz), 2.56(1H, dq, J=8, 6, 7. 0Hz), 2. 78 (3H, s), 2. 92 (1 H, m), 3. 01 (1H, dd, J=13.5, 7. 7Hz), 3. 07 (1H, dd, J=13. 5, 6. 6Hz), 3. 10 (1H, m), 3. 20 (3H, s), 3. 30 (3H, s), 3. 64 (1H, dd, J=12. 6. 4. 9Hz), 3. 92 (1H, dd, J=12. 6, 2. 4Hz), 4. 10 (1H, dd, J=8.6, 2.0Hz), 4.16(1H, m), 4.57 (1H, ddd, J=8.6, 4.0, 2.0 Hz), 5.00 (1H, m), 5.02 (1H. m), 5. 24 (1H, m), 6. 79 (1H, d, J =9.2Hz), 7.04(1H, m), 7.12(2 H, m), 7.22(2H, m) にシグナルを示す重べ ンゼン中の600MHェのプロトン核磁気共鳴スペクト

[0030] (f) 11.0(q) 11.1(q), 1 3. 1 (q), 15. 7 (q), 16. 2 (q), 1 8. 4(q), 20. 3(q), 24. 7(t), 2 5. 1(t), 24. 9(t), 26. 1(t), 2 7. 9 (d), 31. 8 (q), 33. 2 (d), 3 6.6(t), 37.6(d), 38.1(t), 4 2. 7(q), 43. 4(d), 47. 8(t), 5 3. 1 (d), 57. 4 (d), 57. 9 (q), 6 0.6(d),60.8(q),62.5(t),7 6. 3(d), 77. 2(d), 79. 2(d), 8 2. 0 (d), 126. 7 (d), 128. 7 (d), 129.9(d), 137.9(s), 170.3 (s), 171. 1 (s), 173. 8 (s) 174. 09(s)にシグナルを示す重ベンゼン中の100MH z 炭素-13核磁気共鳴スペクトルを有する。 【0031】(6)上記(1),(2),(3), (4)又は(5)記載の物質を有効成分とする。抗腫瘍 剤等として使用することができる医薬、に関する。 [0032] 【発明の実施の形態】上記物理化学的性質を有するドラ

のでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmの

スタチン日は後記式(22)の構造を有し、イソドラス タチン日は後記式(21)の構造を有し、エピドラスタ チン日は後記式(23)の構造を有し、エピイソドラス タチン日は後記式(24)の構造を有する。

【0033】ドラスタナンH及びイソドラスタチンHは、例えば、実施例1に評述するように、日本産タッナ・ガイ(Dolabella auricuralia)をメタノールと共に粉砕し、3カ月間室温にて放置した後、混合物をう造し、ろ液を濃縮し、その濃縮液を乾酸エナルで抽出した後、近に濃低、得られたが状物を脱脂、延圧濃縮し、シリカゲルカラムクロマトグラフィー、中圧圧休クロマトグラフィー、中圧液休クロマトグラフィー、特別にあるとはからないます。

【0034】又、上記のドラスタチンH、イソドラスタチンHに限らず、エピドラスタチンH、エピイソドラスタチンH。 サチンHも含め前記式(20)で示されるペプチド誘導体は、接起の反応式に従って、具体的には実施例に示した方法に従って合成することができる。

【0035】本発明の式(20)で示されるペアチド誘導体(当然、ドラスタチンド、イソドラスタチンド、エピッドラスタチンド、大学のドラスタチンドの含む。 は酸又はアルカリと塩を作るが、本発明においてはこれら塩は薬学的に許容される塩であればよく、かかる 起としては、塩酸、硫酸、硝酸などの無機酸; p・トルエンスルホン酸、クエン酸、コハク酸などの有機酸等との酸付加塩やナトリウム、カリウムなどのアルカリ金属; カルシウムなどのアルカリ土類金属等との塩があげられる。

られる。 (00361本発明のペプチド誘導体又はその豪学的に 許容される塩を医薬(抗腫病病等)として用いる場合、 製刑形態で経口的または非経口的(例えば、静脈たし長り ・ 総別としては、固体または液体の利型、具体的には、例 支ば、旋列(核を数と、プイルムコーティング錠を含 む)、丸利、颗粒剤、散剤、カプセル剤(ソフトカプセル剤を含む)、シロップ剤、エリキシル、乳剤、懸剤 ・ が押いられるここの経口技や用製剤は未発明のペプチ ド誘導体又はその豪学的に許容される症を、製剤分野に おいて温柔用いられる程体もしくは観形剤と混合し、自 体公知の方法に従い製造することができる。

CONTRACTOR OF

【0037】このような担体、賦形剤としては、例えばシロップ、アラビアゴム、ゼラチン、ソルビトール、トラガントゴム、ボリビニルビロリドン等の結合剤、ラウトース、整理、とうもろこし澱粉、リン酸カルシウム、タルグリシン等の充填剤、スアアリン酸マグネシウム、タル

ク、ポリエチレングリコール、シリカ等の滑沢剤、馬鈴 薯澱粉等の崩壊剤、ナトリウムラウリルサルフェート等 の浸潤剤等が用いられる。

【0038】非経口投与用製剤としては、例えば注射剤 (例えば皮下注射剤、皮内注射剤、筋肉注射剤等)、坐 薬等が用いられる。

(0039]このような注射剤は自体公知の方法、例え は本発明のベアチド誘導体又はその薬学的に溶容される 塩を適常注射剤に用いられる無慮の水性もしくは油性液 に懸濁または乳化することによって製造される。注射剤 用の外性液としては生理食塩水、等張液等があけられ、 必要により適当な懸濁化剤、例えばカルボキシメチルセ ルロースナトリウム、非イオン性界面活性刺激を併用し でもよい、油性液としてはマブ油、大豆油等が用いられ、溶解剤即効化して安息者酸ペンジル、ベンジルアル コール等を併用してもよい。調製された注射液は通常適 当なアンアルに充填される。

【0040】 劉利中において、本発明のペプチド誘導体またはその薬学的に許容される塩の含量は製料形態等に り広範囲で変えることが可能であり、一般には本発明のペプチド誘導体またはその薬学的に許容される塩を 0.01~100%(重量)、好ましくは0.1~70 %(重量)含有し、残りは通常医薬用に使用される担体、脱料剤、その他の細胞剤からなる。

【0041】上記製剤を治療に用いる場合、1日当たりの投与量は、患者(特に感患者)の状態や体重、投与の た法等により現なるが、成人 体重50kg) 人当たり活性成分 (本発明のペプチド誘導体又はその薬学的に計容される場)として0.1~10mgであり、通常1日当たり1から3回にわけて投与する。次に本発明の薬理作用を製験例により示す。

【0042】実験例 癌細胞に対する増殖阻害作用

指電子に対する「日本日 1 当たり2000個の成組配を 措き、24 時間障養後、披豫薬(表1の化合物)をDM SOで溶解し、生理食塩水を希釈したものを確々の濃度 で添加した、その後、37℃、5%CO。インキュベー ターで72時間培養した、培養後、細胞を0.05%メ チレンブルー水溶液で染色した後、3%塩酸で溶出した メチレンブルー水溶液で染色した後、3%塩酸で溶出した メチレンブルー大溶液で染色した後、3%塩酸で溶出した コントロールに対する50%増殖阻害濃度(IC5g)を 求めた、結果を表1に示す。 [0043]

もろこし澱粉、リン酸カルシウム、 [表1] 、ステアリン酸マグネシウム、タル 表1 癌細胞(He1a S。(ヒト子宮頸癌))に対する増殖阻害作用

2.2

IC50 (ng/m1)

実施例20の合成イソドラスタチンH

実施例23の合成エピドラスタチンH 実施例21の合成エピイソドラスタチンH

20 29

i propinski propinski

【0044】表1に示すように、本発明の化合物はHe 1 a S₃ 細胞に対して、強い増殖阻害作用を示した。 なお、BALB-Cヌードマウス (雄性、8週令) に本 発明化合物 (ドラスタチンH)を1.25mg/kgの 投与量で4日間隔3回静脈内投与(q4d×3)した が、毒性死はなかった。 [0045]

【実施例】次に実施例として、ドラスタチンH、イソド

ラスタチンH、エピドラスタチンH、エピイソドラスタ チンHの精製法、全合成法及び製剤例を示し、本発明を 更に詳細に説明する。なお、実施例における反応と実施 例において用いる化合物番号に対応する化合物の構造に ついては、以下の反応式に示したとおりである。 [0046]

【化5】

[0047]

an d'Arman an Carlotte de Maria (Albarta) (Albarta) and a company and a company and a complete programme (Albarta) and a company and a company

【化7】

CAN THE PROPERTY OF THE PROPER

[0048]

(12)

[0049]

【化8】

[0051]

【化10】

[0052]

【化11】

[0054]

【化13】

【0055】上記反応式において、各略号は次のとおり の意味を有する。

DIBAL 水素化ジイソプチルアルミニウム TBDPSCI 塩化tert-ブチルジフェニルシリル ImH イミダゾール TBDPS tert-ブチルジフェニルシリル基 Вn ベンジル基 LHMDS リチウムヘキサメチルジシラジド Вос tert-ブトキシカルボニル基 Мe メチル基 DCC ジクロロヘキシルカルボジイミド DMAP 4ージメチルアミノビリジン CSA (±)-10-カンファースルホン酸 z ベンジルオキシカルボニル基 But tertーブチル基 DEPC ジエチルリン酸シアニド

Et エチル基

i - Prイソプロビル

【0056】実施例1 ドラスタチンH及びイソドラスタチンHの精製法

三重県志摩郡志摩町越賀あずり浜にて1993年4月に 採集したタツナミガイ (Dolabella auri cularia) (33kg)の内臓(20kg)をメ タノール(401)と共に粉砕し、3ケ月間室温にて放 置した。

【0057】混合物をろ過してろ液を2しまで濃縮し た。得られた水混合物を酢酸エチル(2L)で3回抽出 した後、有機層を合わせて減圧濃縮すると油状物(9 1.4g) が得られた。この油状物をメタノール水

(9:1)(1L)に溶かしヘキサン(1L)で2度脱 脂を行った後、メタノール水層を減圧濃縮すると油状物 (30.8g)が得られた。

【0058】この油状物をシリカゲルカラムクロマトグ ラフィーにより分離した。溶出溶媒にはベンゼン一酢酸 エチル(1:1) 酢酸エチル、酢酸エチルーメタノー ル (95:5、9:1、4:1)、メタノールを順次用 いた。酢酸エチル、メタノール (9:1) で溶出する画 分(1.46g)をHPLC(高速液体クロマトグラフ ィー) により分離した。条件: Fuji Silysi a Micro Bead Silica Gel4 B、ペンゼン-酢酸エチル-メタノール(80:16: 4)から(0:80:20)(直線グラジェント)、6 mL/min.

【0059】ベンゼン、酢酸エチルーメタノール(2 8:58:14)から(18:66:16)で溶出する 画分(371mg)をODS (Nacalai Tes queCosmosil 75C18 -OPN)カラム クロマトグラフィーにより分離した。溶出溶媒にはメタ ノールー水(4:1)、メタノールを順次用いた、メタ ノールー水(4:1)で溶出する画分(300mg)を MPLCにより分離した。条件: Nomura Che mical Develosil ODS30/60. 70%から100%MeOH(直線グラジェント)、5 mL/min, メタノールー水 (92:8) からメタノ ールで溶出する画分(46mg)をHPLCにより分離 した。条件: Develosil ODS10/20 (20×250mm), 50% b 660% CH, CN (直線グラジェント)、5mL/min、UV(215 nm) 検出。

【0060】ドラスタチンHおよびイソドラスタチンH を含む画分(16mg)をシリカゲル分取TLC(薄層 クロマトグラフィー) により分離した。展開溶媒にはク ロロホルムーアセトンーメタノール(20:7:3)を 用いた。ドラスタチンHおよびイソドラスタチンHを含 む画分(4mg)をシリカゲル分取TLC [CHC1] -CH₃ OH (12:1) で分離した後、HPLC (D evelosil ODS10(20×250mm),

CH3 CN-0. 01MNH4 OCOCH3 (7: 3)、5mL/min、UV (215nm) 検出) によ り精製し、純粋なドラスタチンH (O. 3mg) および イソドラスタチンH(0.3mg)を得た。得られたド ラスタチンHおよびイソドラスタチンHの性状および物 性は以下のようであった。

【0061】形状:

無色無定形粉末

溶解性:メタノール、エタノール、アセトン、アセトニ トリル、ジメチルスルホキシド、酢酸エチル、クロロホ ルム、塩化メチレン、ベンゼンに可溶、水に難溶。クロ マトグラフィーにおける挙動:シリカゲルTLC (展開 溶媒: CHC 13 CH3 OH (10:1)]で共にRf 值0.60、HPLC (Develosil ODS1 0 (20×250mm), CH3 CN-0. 01MNH , OCOCH3 (7:3), 5mL/min:UV(2 15 nm) 検出] で保持時間42分 (ドラスタチンH) および46分(イソドラスタチンH)を示す。

【0062】物理定数及びスペクトルデータ: ドラスタチンH

分子式: C41 H71 N4 O8. (α) 25 p - 56° (c0. 04. CH2 OH).

IR (CHC13): 3425, 1730, 1660, 1635, 1495, 1455, 1260, 1095,

1060cm-1. UV (CH3 OH): 208nm (£23000) [0063] HNMR (600MHz, C6 D6): δ 0.86 (t, J=7.7Hz, 3H), 0.88 (t, J=7.7Hz, 3H), 0.93(d, J=7. OHz, 3H), 0. 96 (d, J=7. OHz, 3H), 1.06 (d, J=6.6Hz, 3H), 1. 06 (m, 1H), 1.11 (d, J=7.0Hz, 3 H), 1. 21 (m, 1H), 1. 23 (m, 1H). 1. 30 (d, J=7. 0Hz, 3H), 1. 41 (m, 1H), 1.48 (m, 1H), 1.57 (m. 1H), 1.63 (m, 1H), 1.71 (m, 1 H). 1. 86 (m, 1H), 1. 90 (m, 1H), 1.91 (m. 1H), 2.02 (m. 1H), 2.1 1 (m, 1H), 2.19 (s, 6H), 2.30 (d, J=7. 0Hz, 1H) 2. 57 (dq, J=1 0. 3, 7. 0Hz, 1H), 2. 58 (dd. J=1 3. 5, 6. 6Hz, 1H), 2. 73 (s, 3H), 2.84 (dd, J=13, 5, 6, 6Hz, 1H). 2.84 (m, 1H), 3.00 (m, 1H), 3.2 5 (s, 3H), 3. 27 (s, 3H), 3. 76 (d d. J=11.0, 1.9Hz, 1H), 4.12 (m, 1H), 4. 28 (ddd, J=6. 3, 4. 2, 1. 5Hz, 1H), 4. 29 (dd, J=10. 3. 1. 5Hz, 1H), 4. 35 (m, 1H), 4.

60 (dd, J=11.0, 9.5Hz, 1H), 4. 99 (dd, J=8. 8, 8. 1Hz, 1H), 4. 9 9 (m, 1H), 5. 26 (d, J=3. 4, Hz. 1

高分解能FABMS: 測定值 C₄₁ H₇₁ N₄ O₈ (MH*)としての計算値

【0064】イソドラスタチンH 分子式: C41 H11 N4 Oa $(\alpha)^{24} = -47^{\circ} (c0.04, CH_3 OH).$

IR (CHC13): 3425, 1725, 1660. 1635, 1495, 1455, 1260, 1095.

1060cm-1.

UV (CH2 OH): 208nm (£23000) [0065] HNMR (600MHz, C, D,): δ 0.85(t, J=7.3Hz, 3H), 0.87 (t, J=7.3Hz, 3H), 0.94(d, J=7. 0Hz, 3H), 0. 96 (d, J=7. 0Hz, 3H), 1.05 (d, J=6.6Hz, 3H), 1.

07 (m, 1H), 1. 11 (d, J=7. 0Hz, 3 H), 1.20 (m, 1H), 1.22 (m, 1H), 1. 22 (d, J=7. 0Hz, 3H), 1. 40 (m, 1H), 1.47 (m, 1H), 1.62 (m,

1H), 1, 63 (m, 1H), 1, 70 (m, 1 H), 1.86 (m, 1H), 1.90 (m, 1H),

高分解能FABMS: 測定値 C₄₁ H₇₁ N₄ O₈ (MH⁺) としての計算値

【0066】実施例2 化合物2aの合成

200mlのナス型フラスコに化合物(Ia)(Ga o, Y. : Hanson, R. M. ; Klunder, J. M. ; Ko, S. Y. ; Masamune, H. ; Sharpless, K. B. J. Am. Chem. S oc. 1987, 109, 5765-5780の方法で 合成した。) 492mg(3,28ml)を最り取り、 系内を窒素雰囲気下とした後、無水ジクロルメタン7. 0 m 1 に溶解した。0℃に冷却したこの溶液に水素化ジ イソブチルアルミニウムの1.0Mへキサン溶液9.8 5ml (9.85mmol)を7分間かけて加え、0℃ にて30分間撹拌した。反応混合物に酢酸エチル5.0 mlを加えた。氷浴をはずしてエーテル30mlおよび IM塩酸30mlを加え、室温で30分間撹拌した。反 応混合物を分液し、水層をエーテル (2×50m1) に て抽出した。有機層を合わせ、飽和塩化ナトリウム水溶 液(20ml)にて洗浄し、乾燥後、減圧濃縮した。得 られた油状物をカラムクロマトグラフィー〔シリカゲル 50g、ヘキサン-酢酸エチル(1:1→1:2)]に て精製すると目的の化合物(2a)307mg(収率

(Bergstein, W.; Kleemann, A. ; Martens, J. Synthesis 19 81, 76-78 Cardillo, G.; Oren

62%)が無色結晶として得られた。

H), 6.72 (d, J=8.8Hz, 1H), 7.0 5-7, 20 (m, 5H).

747, 5294.

747, 5272.

1. 92 (m, 1H), 2. 01 (m, 1H), 2. 1 0 (m, 1H), 2. 19 (s, 6H), 2. 29 (d, J=7.0Hz, 1H), 2.51(dq, J=10.6, 7.0Hz, 1H), 2.73(s, 3 H), 2. 77 (dd, J=14. 0, 6, 2Hz, 1 H), 2.83 (m, 1H), 2.93 (dd, J=14. 0, 7. 5Hz, 1H), 3. 01 (m, 1H), 3. 26 (s, 3H), 3. 27 (s, 3H), 3. 8 0 (ddd, J=13.0, 7.0, 6.2Hz.1 H), 3. 90 (ddd, J=13, 0, 7, 5, 2, 4Hz, 1H), 4.13 (m, 1H), 4.20 (m, 1H), 4.27 (dd, J=10.6, 1.1Hz, 1H), 4.98 (dd, J=8.8, 7.6H z, 1H), 4. 99 (m, 1H), 5. 21 (dd, J=7. 5, 7. 0Hz, 1H), 5. 54 (m, 1 H), 6. 68 (d, J=8. 8Hz, 1H), 7. 0 7-7.15 (m, 5H).

747. 5309.

747, 5272. a, M.; Romero, M.; Sandri, S. T. etrahe-dron 1989, 45, 1501-1508の方法)

【0067】無色針状結晶

mp 46-47℃(ヘキサン-CH, C1,) $(\alpha)_0$ 18-35. 4° (c1. 00, C₂ H₅ OH) 文献值(Bergstein, W.; Kleeman n, A. ; Martens, J. Synthesis $1981, 76-78): (\alpha), 20-36$ (c). C2 H5 OH)

【0068】実施例3

化合物(2b)の合成

化合物(2a)の合成と同様の操作により、アルコール (1b) (Gao. Y.; Hanson, R. M.; K lunder, J. M. ; Ko, S. Y. ; Masam une, H.; Sharpless, K. B. J. A m. Chem. Soc. 1987, 109, 5765-5780 Milloni, P. : DellaTorr e, A.; Lazzari, E.; Mazzini. G. ; Meroni, M. Tetrahedron 1 985、41、1393-1399の方法で合成し た。) 526mg (3.51mmol) より目的の化合 物(2b) 326mg (収率62%) が無色結晶として 得られた。

【0069】無色針状結晶

mp45-46℃ (ヘキサン-CH2 C12) (α), 22-29. 9° (c1. 05, C, H₅ OH) 文献值 (Cardillo, G. ; Orena, M. ; Romro, M.; Sa-ndri, S. Tetrah edron 1989, 45, 1501-1508) $(\alpha)_{1} = 33.2^{\circ} (c1.C_{\circ} H_{\bullet} OH)$ 【0070】実施例4

化合物 (3a)の合成

10mlのナス型フラスコに化合物(2a)184mg (1. 22mmol)とイミダゾール182mg(2. 68mmol)を量り取り、系内を窒素雰囲気下とした 後、無水ジメチルホルムアミド1.0miに溶解した。 O℃に冷却したこの溶液に塩化tertーブチルジフェ ニルシリルO.35ml(1.3mmol)を加え、室 温にて20分間撹拌した。 反応混合物にベンゼンー酢酸 エチル (1:1) 50mlを加え、この溶液を10%ク エン酸水溶液(5 m l)、水(5 m l)、飽和炭酸水素 ナトリウム水溶液 (5ml)、水 (5ml)、飽和炭酸 水素ナトリウム水溶液 (5m1) に順次洗浄し、乾燥 後、減圧濃縮した。得られた油状物をカラムクロマトグ

高分解能質量スペクトル分析 (FAB)

413.1928 (+1.5mmu) C₂₅ H₃₀ O₂ SiNa (MNa⁺) としての計算値 413.1913

【0072】実施例5 化合物(3b)の合成

化合物(3a)の合成と同様の操作により、ジオール (2b) 227mg (1. 49mmol) よりシリルエ ーテル(3b)531mg(収率91%)が無色油状物 として得られた。

 $(\alpha)_{1}^{25}-0.30^{\circ}$ (ci. 71, CHC1₃)

【0073】実施例6 化合物(4a)の合成

200mlのナス型フラスコに化合物(3a)1.88 g(4.82mmol)を量り取り、系内を窒素雰囲気 下とした後、無水ジメチルホルムアミド7.50m1に 溶解した。この溶液に臭化ベンジル2.90m1(2 4.4mmo1), ついでリチウムヘキサメチルジシラ ジドの1.0Mテトラヒドロフラン溶液7.20ml (7.20mmol)を加え、室温にて1.5時間撹拌 した。反応混合物を○℃に冷却した後、飽和塩化アンモ ニウム水溶液30m1を加え、ヘキサンーベンゼン (1:1) (200ml, 2×100ml)で抽出し た。有機層を合わせ、水(30m1)、飽和塩化ナトリ

高分解能質量スペクトル分析(FAB)

503. 2410 (+2, 7mmu) C32 H36 O2 SiNa (MNa*) としての計算値

【0075】実施例7 化合物(4b)の合成

化合物(4a)の合成と同様の操作により、化合物(3 b) 203mg(0.521mmol)より化合物(4

ラフィー〔シリカゲル25g、ヘキサンー酢酸エチル (20:1→10:1)]にて精製すると、目的の化合 物(3a) 368mg (収率78%) が無色油状物とし て得られた。

 $(\alpha)_{0}^{28}-0.30^{\circ}$ (c1.04, CHCl₃) IR (CHC13)

3580, 1600, 1585, 1495, 1470, 1425, 1115, 1080, 820cm-1

[0071] HNMR (270MHz, CDC13) δ 1.08(9H, s), 2.43(1H, d, J= 4. 3Hz), 2. 77 (2H, d, J=6.6H z), 3. 57 (1H, dd, J=10. 0, 6. 4H

z), 3.67 (1H, dd, J=10.0, 4.0H z), 3. 94 (1H. m), 7. 12-7. 31 (5

H, m), 7. 32-7. 48 (6H, m), 7. 60 -7.75 (4H.m) MS (FAB)

m/z413 (MNa+ . 22) , 199 (46) , 1 35 (100), 117 (53)

ウム水溶液 (30m1) にて順次洗浄し、乾燥後、減圧 濃縮した。得られた油状物をカラムクロマトグラフィー (シリカゲル (FL60D) 150g、ヘキサン-エー テル (90:1)を2回行うことにより精製すると目的 の化合物(4a)1.74g(収率75%)が無色油状 物として得られた。

(α)_n 30-34.1° (cl. 19, CHCl₃) [0074] IR (CHC 13)

1600, 1585, 1495, 1475, 1455,

1425, 1115, 1080, 820cm-1 1HNMR (270MHz, CDC13)

δ1.09 (9H, S). 2.81 (1H. m), 2. 98 (1H, m), 3. 63-3. 80 (3H, m), 4.36 (1H, d, J=11.6Hz), 4.52

(1H, d, J=11.6Hz), 7, 10-7, 45 (16H, m), 7.63-7.73 (4H, m) MS (FAB)

m/z503 (MNa⁺, 54), 197 (57), 1 35(100), 105(45)

503.2383

b) 149mg (収率60%) が無色油状物として得ら れた。(ただし塩基としてLHMDSのかわりにNaO H)を使用した。)

 $(\alpha)_0^{25}-34.8$ (c0. 742, CHC1₃)

【0076】実施例8 化合物 (5 a) の合成

500mlのポリプロピレン製容器に化合物(4a) 1.73g(3.60mmol)を量り取り、アセトニ トリル60m1に溶解した。0℃に冷却したこの溶液に 47%フッ化水素酸30m1 (810mmol)を加 え、0℃にて30分間、室温にて2時間、激しく撹拌し た。氷-飽和炭酸水素ナトリウム水溶液(1:1)混合 物2Lに、反応混合物をゆっくりと加えた後、エーテル (800m1、2×400m1) にて抽出した。有機層 を合わせ飽和塩化ナトリウム水溶液(200m1)にて 洗浄し、乾燥後、減圧濃縮した。得られた油状物をカラ ムクロマトグラフィー(シリカゲル100g、ヘキサン 一酢酸エチル(3:1)〕にて精製すると、化合物(5 a) 848mg (収率97%) が無色油状物として得ら nt.

高分解能質量スペクトル分析 (FAB)

測定值

265. 1208 (+0. 3mmu) C18 H18 O2 Na (MNa+) としての計算値

【0078】実施例9 化合物 (5b) の合成

化合物 (5a) の合成と同様の操作により、化合物 (4 b) 83mg、(0.17mmol)より目的の化合物 (5b) 35mg (収率84%) が無色油状物として得 られた。

 $(\alpha)_n^{25}-13.5$ (c0.646, CHC1,) 【0079】実施例10

化合物 (7a) の合成 20mlの枝付きフラスコにカルボン酸(6)(Shi ori, T.; Hayashi, K.; Hamada, Y. Tetrahedron 1993, 49, 191 3-1924の方法で合成した) 72. 7mg (0.2 53mmol), 化合物 (3a) 67. 2mg (0. 1 7 2mmo1). 4-ジメチルアミノビリジン21.0 mg(0.172mmol), および(±)-10-カ ンファースルホン酸20.0mg(0.086mmo 1)を量り取り、系内を窒素雰囲気下とした後、無水ジ クロロメタン2. Om 1 に溶解した。0℃に冷却したこ の溶液にジクロロヘキシルカルボジイミド96.4mg (0.467mmol)を加え、0℃にて6時間攪拌し た. 反応混合物を綿栓ろ過し、不溶物をヘキサンーベン ゼン(1:1)10mlにて洗浄した。ろ液と洗液を合

わせ、減圧濃縮した後、さらに綿栓ろ過し、不溶物をへ

キサンーベンゼン(1:1)5mlにて洗浄した。ろ液

と洗液を合わせ、減圧濃縮した。得られた油状物をカラ 高分解能質量スペクトル分析(FAB)

C38 H53 O6 SiNa (MNa+)としての計算値

【0081】実施例11 化合物 (7b) の合成

 $[0077](\alpha)_n^{28}-14.5^{\circ}(c1.77, C$ HC1.) IR (CHC13) 3580. 3460 (br), 1600, 1585, 1 495, 1455, 1395, 1350, 1100, 1 085, 1070, 1040, 1030, 915cm-1 1HNMR (270MHz, CDC 13) $\delta 2.08 (1H, brt, J=4.6Hz).2.8$ 1 (1H, dd, J=13.5, 6.9Hz), 2.9 4(1H, dd, J=13.5, 6.3Hz), 3.49 (1H, m), 3. 58-3, 76 (2H, m), 4.49 (1H, d, J=11.6Hz), 4.55 (1H, d, J=11.6Hz), 7.16-7.38(10H, m)

m/z265 (MNa+, 100)

MS (FAB)

265.1205 ムクロマトグラフィー (シリカゲル10g、ヘキサンー 酢酸エチル (15;1→10;1)〕にて精製すると、 目的の化合物 (7a) 84.3mg (収率74%) が無 色油状物として得られた。

[0080] $(\alpha)_{1}^{30}-41.9^{\circ}$ (c1. 26, C HCl.)

IR (CHC12)

1725. 1680. 1600, 1590, 1500, 1475, 1455, 1430, 1400, 1395, 1365, 1255, 1160, 1115, 820cm

1HNMR (270MHz, CDC1a)

δ1.07 (9H, s), 1.13-1.22 (3H, m), 1, 47 (9H, s), 1, 55-1, 74 (2 H, m), 1. 74-1. 97 (2H, m), 2. 30 -2.54(1H, m), 2.82-2.9(1H. m), 3. 05 (1H, dd, J=13. 9, 5. 9H z), 3. 12-3. 26 (1H. m), 3. 30 (3 H. s), 3, 34-3, 90 (5H, m), 5, 16 -5. 32 (1H, m), 7. 13-7. 30 (6H, m), 7.61-7.76(4H, m)

MS (FAB) m/z682 (MNa', 16), 660 (MH', 4) 560 (49), 239 (15), 197 (3

7), 170 (36), 135 (100), 114 (4 0)

682.3519 (-2.0mmu) 682.3539

20mlのナス型フラスコにカルボン酸(6)(Shi ori, T. ; Ha-yashi, K. ; Hamad

a, Y. Tetrahedron 1993, 49, 1 913-1924の方法で合成した)84.5mg (0.294mmol), 化合物(3b)77.6mg (0.1999mmol), 4-ジメチルアミノビリジ ン24. 3mg (0. 199mmol), および (±) -10-カンファースルホン酸23.1mg(0.10 Ommol)を量り取り、系内を窒素雰囲気下とした 後、無水ジクロロメタン2.5m1に溶解した。0℃に 冷却したこの溶液にジクロヘキシルカルボジイミド10 Omg(0,485mmol)を加え、0℃にて6時間 擬拌した。 反応混合物を綿栓ろ過し、不溶物をヘキサン ベンゼン(1:1)10mlにて洗浄した。ろ液と洗 液を合わせ、減圧濃縮した後、さらに綿枠ろ渦し、不溶 物をヘキサンーベンゼン(1:1)7mlにて洗浄し た。ろ液と洗液を合わせ、減圧濃縮した。得られた油状 物をカラムクロマトグラフィー (シリカゲル10g, へ キサン-酢酸エチル (15:1→10:1)] にて精製 すると、目的の化合物 (7b) 101mg (収率77 %) が無色油状物として得られた。

[0082] (a), 26-8.71° (c1.01, C 高分解能質量スペクトル分析 (FAB)

Cas Hs. NOs Si (MH*) としての計算値

【0083】実施例12 化合物 (8a) の合成 100mlのナス型フラスコにカルボン酸(6)(Sh iori, T. : Hayashi, K. : Hamad a, Y. Tetrahedron 1993, 49, 1 913-1924の方法で合成した) 32mg(2.5 5mmol), 化合物(5a) 515mg(2.13m mol), 4-ジメチルアミノピリジン62.8mg (0.514mmol), および(±)~10-カンフ rースルホン酸60.2mg(0.259mmol)を 量り取り、系内を窒素雰囲気下とした後、無水ジクロロ メタン15.0m1に溶解した。0℃に冷却したこの溶 液にジクロヘキシルカルボジイミド639mg(3.1 Ommol)を加え、O℃にて12時間撹拌した。反応 混合物を綿栓ろ過し、不溶物をヘキサンーベンゼン (1:1)10m1にて洗浄した。ろ滴と洗滴を合わ せ、減圧濃縮した。得られた油状物をカラムクロマトグ ラフィー〔シリカゲル120g、ヘキサンー酢酸エチル (10:1)] にて精製すると、目的の化合物 (8a) 940mg (収率86%) が無色油状物として得られ

> 高分解能質量スペクトル分析(FAB) 測定值

C₃₉ H₅₄ NO₆ Si (MH+)としての計算値 534. 2831

【0085】実施例13 化合物 (8b) の合成 20mlのナス型フラスコにカルボン酸(6)43mg HCla) IR (CHC1a) 1725, 1680, 1600, 1590, 1500, 1475, 1455, 1430, 1400, 1395, 1365, 1255, 1160, 1115, 820cm

1HNMR (270MHz, CDC13) δ1. 06 (9H, s), 1. 07-1. 15 (3H, m), 1. 46 (9H, s), 1. 53-1. 96 (4 H, m), 2. 34-2. 52 (1H, m), 2. 85 -3.05 (2H, m), 3.13-3.25 (1H. m), 3, 34 (3H, s), 3, 46-3, 95 (5 H, m), 5. 14-5. 25 (1H, m), 7. 12 -7.48 (11H, m), 7.55-7, 74 (4 H. m)

MS (FAB) m/z660 (MH+, 11), 560 (93), 23 9(17), 199(39), 170(65), 135 (100), 114(70)

660.3720 $[0084](\alpha)_{n}^{30}-40.0^{\circ}(c1.34.0)$ HCla) IR (CHC,)

660. 3741 (+2. 1mmu)

1730, 1680, 1600, 1495, 1475, 1455, 1400, 1365, 1245, 1160, 1095, 1025, 900, 865cm-11HNMR (270MHz, CDC1a) δ 1. 27 (3H, d, J=6. 9Hz), 1. 47

(9H, s), 1.55-1.74(1H, m), 1. 74-2. 05 (3H, m), 2. 47-2. 63 (1 H, m), 2. 79-2. 99 (2H, m), 3. 13 -3. 29 (1H, m), 3. 32-3. 62 (1H, m), 3. 41 (3H, s), 3. 65-4. 18 (5 H, m), 4.45 (1H, d, J=11.6Hz), 4.56 (1H, brd, J=11.6Hz), 7.1 6-7.33(10H.m)

m/z534 (MNa+, 100), 512 (MH+, 8), 478 (18), 456 (6), 412 (9 9), 170 (69), 138 (44), 114 (8 9)

534. 2853 (+2. 2mmu)

MS (FAB)

(O. 15mmol), 化合物(5b) 29mg(0. 12mmol), および4-ジメチルアミノヒリジン 8. 3mg (0.068mmol)を量り取り、系内を

た.

窒素雰囲気下とした後、無水ジクロロメタン1, 3 m l に溶解した。0℃に冷却したこの溶液にジシクロヘキシ ルカルボジイミド40mg (0.20mmol)を加 え、0℃にて4時間撹拌した。反応混合物を減圧濃縮し た。得られた油状物をカラムクロマトグラフィー〔シリ カゲル9g, ヘキサン-酢酸エチル $(7:1\rightarrow 6:$ 1)] にて精製すると目的の化合物(8b)46mg (収率75%)が無色油状物として得られた。 [0086] (a) 127-20. 9° (c0. 864. CHC13) IR (CHC13) 1730, 1680, 1495, 1475, 1455, 1400, 1365, 1245, 1160, 1095, 高分解能質量スペクトル分析(FAB)

HNMR (270MHz, CDC 13) δ 1. 25 (3H, d, J=6. 3Hz), 1. 46 (9H, s). 1. 56-2. 04 (4H, m). 2. 46-2.66(1H, m).2.76-2.98(2 H, m), 3. 14-3. 29 (1H, m), 3. 40 -3.62(1H, m), 3.41(3H, s), 3. 65-4. 36 (5H, m), 4. 41-4. 66 (2 H, m), 7.16-7.34 (10H, m) MS (FAB) m/z534 (MNa+,6),512 (MH+, 9), 456 (7), 412 (100), 170 (7 0), 138 (26), 114 (86)

1025. 900. 865cm-1

534. 2838 (+0. 7mmu)

534. 2831

C₃₀ H₄₁ NO₆ Na (MNa⁺)としての計算値 【0087】実施例14

化合物(10)の合成 100mlのナス型フラスコにエステル(9)(Tom ioka, K. ; Kanai, M. ; Koga, K. T etrahedron Lett. 1991. 32. 2 395-2398の方法で合成した) 518mg (1. 32mmol)を量り取り、メタノール6.6mlに溶 解した。この溶液へ10%パラジウムー炭素134mg を加え、系内を水素雰囲気下とした後、室温にて70分 間激しく攪拌した。ろ液と洗液を合わせて減圧濃縮した 後、ベンゼン10mlを加え減圧濃縮する操作を3回行 った。得られた粗アミンは、精製することなく次の反応 に用いた.

【0088】100mlのナス型フラスコに上記の反応 生成物とェーレーイソイシン525mg(1.98mm 01)を入れ、系内を窒素雰囲気下とした後、無水ジク ロロメタン5.0mlに溶解した。0℃に冷却したこの 溶液にbenzotri-azol-1-yloxyt ripyrrolidinophosphoni-um hexafluorophosphate (PyBO P) 1.04g(2.01mmo1), について無水エ チルジイソプロビルアミン0.70ml(4.0mmo を加えた後、0℃から徐々に室温まで昇温しつつ1 7. 5時間撹拌した。反応混合物にベンゼン-酢酸エチ ル(1:3) 200mlを加え、得られた溶液を10% クエン酸溶液(20m1)、水(20m1), 飽和炭酸 水素ナトリウム水溶液(20m1),水(20m1), 飽和塩化ナトリウム水溶液(20m1)にて順次洗浄 し、乾燥後、減圧濃縮した。得られた油状物をカラムク ロマトグラフィー (のシリカゲル120g, ヘキサンー 酢酸エチル (9:1→8:1) ②シリタゲル (FL60 D) 100g, ヘキサン-酢酸エチル (20:1→1

高分解能質量スペクトル分析(FAB) 測定值

5:1→10:1) @ODS100G. メタノールー水 (85:15→90:10) @ODS10G, メタノー ルー水(80:20) ⑤シリカゲル40g、ヘキサンー 酢酸エチル(3:1)]にて順次精製すると、目的の化 合物(10)550mg(収率83%)が無色油状物と して得られた。 [0089] $(\alpha)^{30}$ -8. 75° (c1. 29, C HC13) IR (CHC 1a) 3430, 1715, 1640, 1505, 1455, 1410, 1365, 1295, 1235, 1155, 1095, 1040, 1025, 840cm-11HNM R(270MHz, CDCl₃)(rotamer ra tio5:1) 80.83 (3H, t, J=7.3H z), 0.88(3H, t, J=7.4Hz), 0.9 5-1.17(2H, m), 0.96(3H, d, J= 6. 9Hz), 0. 98 (3H, d, J=7. 6H z), 1. 26-1. 82 (4H, m), 1. 44 (1.5H, s), 1.45(7.5H, s), 2.3 0 (1H, dd, J=15.5, 8.9Hz), 2.4 1 (0.17H, dd, J=15.8, 3.0Hz)2. 44 (0. 83H, dd, J=15. 5, 2. 6H

J=9. 2Hz), 7. 28-7. 40 (5H, m) m/z529 (MNa+, 100), 473 (60)

z), 2. 76 (0. 5Hz, s), 2. 97 (2. 5

H, s), 3. 33 (0. 5H, s), 3. 34 (2.

5H, s), 3.68(0.17H, dd, J=9.

2, 5. 0Hz), 3. 88 (0. 83H, m), 3.

98 (0. 17H, m), 4. 57-4. 84 (1H.

m), 5. 09 (2H, s), 5. 44 (0. 83H,

d, J=9.2Hz), 5.60 (0.17Hz, d,

529. 3275 (+2. 1mmu)

MS (FAB)

C₂₈H₄₆N₂O₅Na(MNa*)としての計算値 【0090】実施例15 【0091】

化合物 (12) の合成 50mlナス型フラスコに化合物 (10) 354mg (0.700mmol)を量り取り、メタノール3.5 m 1 に溶解した。この溶液へ10%パラジウム-炭素7 Omgを加え、系内を水素雰囲気下とした後、室温にて 30分間激しく撹拌した。 メンプランフィルターにて反 応混合物をろ過し、残渣をメタノール8m1にて洗浄し た。ろ液と洗液を合わせ減圧濃縮した後、ベンゼン10 m l を加え減圧濃縮する操作を3回行った。得られた粗 アミンは精製することなく次の反応に用いた。30m1 のナス型フラスコに上記の反応生成物とN,Nージメチ ルーL-バリン (11) (Bowman, R. E. ; S t-roud, H. H, <u>J. Chem, Soc</u>. 195 0, 1342-1345の方法で合成した) 125mg (0.866mmol)を入れ、系内を窒素雰囲気下と した後、無水ジメチルホルムアミド2.0mlに溶解し

【0091】のでに冷却したこの溶液にジェナルリン酸シアニドの・13ml(0.86mmol)、ついで無木トリエチルアミンの・12ml(0.86mmol)と加えた後、のでにて2時間膜料した。反反認合物をベンゼンー前線エナル(1:2)100mlと105クェンゼンー前線エナル(1:2)100mlと105クェンゼンー前線エナル(1:2)100mlと105クェンゼン会加えてPH9とした後、クロロホルム(3×80ml)にて協労した。有機理会合むせ絶和値化ナトリウム水溶液(20ml)にて洗砂し、定液砂し、砂塩後、旭圧濃縮した、得られた油状物をカラムクロマトグラフィー(0DS 20s.メタノールー水(80:20)】にて精製すると、目的化合物(12)331ms(収率95%)が無色結晶として得られた。

無色プリズム状結晶 mp 58-59℃ (ペンタン)

 $(\alpha)^{27}$ -43. 4° (c0. 579, CH₃ OH)

高分解能質量 (元素分析)

測定値 C, 64. 72; H, 10. 67; N, 8. 36 計算値 C₂₇H₅₃N₃ O₅ : C, 64. 89; H, 10, 69; N, 8. 41

【0092】実施例16 化合物 (13a) の合成

語語

20mlの枝付きフラスコに化合物(12)16.5mg(0.0331mmol) および化合物(7a)2
1.7mg(0.0329mmol)を量り取り、系内を望案雰囲気下とした後、無水ジクロロメタク0.20mlに溶解した。0でに冷却したこの溶液にトリフルオロ耐酸0.20mlを加えた使、0でにて1時間、溶温にて1時間原料した。反反混合物を竣圧線能力を後、火ゼンゴン5mlを加え減圧機能力を操作を5回行った。得られた粗アミンのトリフルオロ節酸温、粗カルボン酸は、精製することなく次の反応に用いられた、機能を100mlのでは、精製することなく次の反応に用いられた。

での計算値 529. 3254 【0091】 IR (CHC I₃)

3430, 3370, 1720, 1660, 1635, 1500, 1460, 1410, 1370, 1300, 1240, 1150, 1095, 1035, 840cm

1HNMR (270MHz, CDC13) (rotame r ratio15:1) 80.80 (3H, t, J= 7. 4Hz), 0. 89 (3H, t, J=6. 9H z), 0. 95-1. 42(3H, m), 0. 99(3 H, d, J=6.6Hz), 1.00(3H, d, J=6.6Hz), 1.44(0.56H, s), 1.46 (8. 44H, s), 1. 52-1. 85 (3H, m), 2.07(1H, dqq, J=6.6,6.6. 6. 6Hz) octet, 2. 24 (5. 63H, s), 2, 20-2, 37 (1H, m): major rotamer δ 2. 29 (0. 94H, dd, J=1 5. 5, 9. 6Hz), 2. 27 (0. 37H, s). 2.38-2.51 (1H, m):major rot amer δ 2. 45 (0. 94H, dd, J=15. 5, 2, 3Hz), 2, 42 (1H, d, J=6, 6H z), 2. 75 (0. 19H, s) 3. 01 (2. 81 H, s), 3. 34 (2. 81H, s), 3. 35 (0. 19H, s), 3. 68 (0. 06H, dd, J =10.1,5.0Hz),3.88(0.94H. m), 3. 96 (0. 06H, m), 4. 75 (0. 9 4H, m), 4.81 (0.94H, dd. J=9. 2, 7, 3Hz), 5, 09 (0, 06H, dd, J= 9. 2, 3. 7Hz), 6. 81 (0. 94H, d, J =9.2Hz), 7.04(0.06H, d, J=9. 2Hz) MS (FAB)

m/z522 (MNa⁺, 100), 466 (76), 100 (52)

【0093】20m1の枝付きフラスコに上記の反応退 舎物を入れ、系内を窒素穿照気下とした後、無木ジメチ ルボルムアミド0、30m1に溶解した。0でに冷却し たこの溶液にジエチルリン酸ンアニド0、010m1 (0.061mmol)、ついで無水トリエチルアミン 0.025m1/0.19

(0.061mmol), ついで無水トリエチルパミン
0.025ml(0.18mmol)を加えた後、0℃
たて1時間操件した。反応混合物をヘキサン・エーテル
(1:1)10mlと10%/フェン酸水溶液(5ml)
にて洗浄し、乾燥後、波圧濃縮した。得られた油状物を
分取薄層クロマトグラフィー(シリカゲル、100×2
00×0、25mm×4枚、クロコホルムーメタノール
(10:1))、次にカラムクロマトグラフィー(OD

S3g, メタノールー水 (80:20→90:10)) にて精製すると目的の化合物 (13a) 15mg) 収率 46%)が無色油状物として得られた。 $(\alpha)^{28} - 45.9$ (c0. 320, CH₂ OH) IR (CHC 12) 3430, 3360, 1725, 1655, 1635, 1500, 1455, 1415, 1260, 1165, 1095cm-1 [0094] HNMR (270MHz, CDC13) (rotamer ratio3:1) δ0. 77-1. 33 (20 H, m), 1. 06 (6. 8H, s), 1. 08 (2. 2H, s), 1. 19 (0.7H, d, J=6.9Hz), 1.20(2.3 H, d, J=6.9Hz), 1.27-1.47(1 H, m), 1.50-2.17(8H, m), 2.20 高分解能質量スペクトル分析 (FAB)

C₅₇ H₈₈ N₄ O₈ SiNa (MNa^{*})としての計算値 1007.6270

【0095】実施例17 化合物(13b)の合成

20mlの枝付きフラスコに化合物(12)40.1m g (0.0804mmol)を量り取り、系内を窒素雰 囲気下とした後、無水ジクロロメタン0.50m1に溶 解した。0℃に冷却したこの溶液にトリフルオロ酢酸 0.50mlを加えた後、室温にて1時間撹拌して混合 物3を得た。20mlのナス型フラスコに化合物(7 b) 53. 2mg (0. 0807mmol)を量り取 り、系内を窒素雰囲気下とした後、無水ジクロロメタン 50mlに溶解した。0℃に冷却したこの溶液にト リフルオロ酢酸0.50mlを加えた後、0℃にて1時 間撹拌して混合物4を得た。

【0096】20mlのナス型フラスコに上記の混合物 3と混合物4を合わせ減圧濃縮した後、ベンゼン5ml を加え、減圧濃縮する操作を3回行った。得られた粗カ ルボン酸および粗アミンのトリフルオロ酢酸塩は、精製 することなく次の反応に用いた。10mlのナス型フラ スコに上記の生成物を入れ、系内を窒素雰囲気下とした 後、無水ジメチルホルムアミド 0.80 m 1 に溶解し た、0℃に冷却したこの溶液にジエチルリン酸ジアニド 0.020ml(0.12mmol)、ついで無水トリ エチルアミン0. 050ml (0. 36mmol) を加 えた後、0℃にて2時間撹拌した。反応混合物にベンゼ ン30mlおよび水10mlを加えた。pH10になる まで炭酸ナトリウムを加えた後、分液し、水層をベンゼ ン(2×30ml)にて抽出した。有機層を合わせ水 (10ml), 飽和塩化ナトリウム水溶液 (10ml)

高分解能質量スペトクル分析(FAB) 985. 6468 (+1.8mmu)

C₅₇ H₈₉ N₄ O₈ Si (MH⁺)としての計算値

-2.54 (4H, m), 2.25 (4.5H, s), 2. 27 (1. 5H, s), 2. 82-3, 14 (2 H. m), 3. 02(2.3H, s), 3. 08(0. 7H, s), 3. 19-3. 50 (2H, m), 3. 2 9 (4H, s), 3. 32 (0. 7H, s), 3. 35 (0.7H, s), 3.63-4.30(5H, m), 4. 64-5. 11 (2H, m), 5. 13-5. 34 (1H, m), 6.87 (1H, d, J=9.2H z), 7. 12-7. 30 (5H, m), 7. 31-7. 49 (6H, m), 7. 60-7. 72 (4H, m) MS (FAB) m/z1007 (MNa*, 100), 666 (1 2), 559 (10), 135 (26), 100 (7

1007. 6300 (+3. 0mmu)

にて順次洗浄し、乾燥後、減圧濃縮した。得られた油状 物をカラムクロマトグラフィー [塩基性アルミナ1g、 ヘキサン-酢酸エチル (2:1→1:1→0:1)〕に て精製すると目的の化合物 (13b) 70.6 mg (収 率89%)が無色油状物として得られた。 [0097] $(\alpha)^{27}$, -29. 9. (c0. 910.

CH₃ OH) IR (CHC 1a) 3430, 3360 (br), 1725, 1655, 1

635, 1500, 1455, 1415, 1260, 1 165, 1095 cm-1 HNMR (270MHz, CDCI3)

δ0. 75-1. 24 (20H, m), 1. 05 (6. 8H, s), 1.07(2.2H, s), 1.19(3 H. d. J=6.9Hz), 1. 26-1. 44(1 H, m), 1. 48-2. 16 (8H, m), 2. 20 -2.63(4H, m), 2.24(4.5H, s), 2. 26 (1. 5H. s), 2. 80-3. 08 (2 H, m), 3. 02(2.3H, s), 3. 10(0. 7H, s), 3. 24-3. 48 (2H, m), 3. 2 8 (2. 3H, m), 3. 31 (2. 3H, s), 3. 32 (0. 7H, s), 3. 33 (0. 7H, s). 3.60-4.22(5H, m), 4.62-4.96 (2H, m), 5. 11-5. 26 (1H, m), 6. 74-6. 92 (1H. m), 7. 12-7. 47 (1

m/z985 (MH+, 8), 100 (100)

1H, m), 7. 56-7. 70 (4H, m)

MS (FAB)

ると目的の化合物 (14a) 888mg (収率87%)

 $(\alpha)^{28}$, -49. 5° (c0. 789, CH₃ OH)

3430, 3370 (br), 1730, 1655, 1

635, 1495, 1455, 1425, 1415, 1

[0100] 1HNMR (270MHz, CDC13)

 δ 0.81 (3H, t, J=7.3Hz), 0.86

(3H, t, J=7.3Hz), 0.90(3H, d,

J=6.9Hz), 0.90-1.23(2H, m).

0.96 (3H, d, J=6.3Hz), 0.99 (3

H, d, J=6.3Hz). 1. 00 (3H, d, J=

6.9Hz).1.23-1.44(1H, m), 1.

(0.6H, d, J=6.9Hz), 1.50-1.8

29 (2. 4H, d, J=6. 9Hz), 1. 30

が無色油状物として得られた。

240, 1165, 1095 cm-1

(rotamer ratio4:1)

IR (CHCI₁)

【0098】実施例18 化合物 (14a) の合成

200mlのナス型フラスコに化合物(12)607m g(1.22mmol)を量り取り、系内を窒素雰囲気 下とした後、無水ジクロロメタン3.0mlに溶解し た。0℃に冷却したこの溶液にトリフルオロ酢酸3.0 m 1 を加えた後、室温にて 1.5時間撹拌して混合物 1 を得た。50mlのナス型フラスコに化合物(8a)6 50mg(1.27mmol)を量り取り、系内を密案 雰囲気下とした後、無水ジクロロメタン3.0mlに溶 解した。0℃に冷却したこの溶液にトリフルオロ酢酸 Omlを加えた後、O℃にて40分間撹拌して混合 物2を得た。

【0099】200mlのナス型フラスコに上記の混合 物1及び混合物2を入れ、系内を窒素雰囲気下とした 後、無水ジメチルホルムアミド5.0m1に溶解した。 0℃に冷却したこの溶液にジエチルリン酸シアニドの. 25m1(1.5mmol), ついで無水トリエチルア ミン0.95m1 (6.8mmol)を加えた後、0℃ にて2時間撹拌した。反応混合物にベンゼン20mlお よび水50m1を加えた。pH11になるまで炭酸ナト リウムを加えた後、分液し、水層をベンゼン (2×10 0ml)にて抽出した。有機層を合わせ水 (50m 1), 飽和塩化ナトリウム水溶液(50m1)にて順次 洗浄し、乾燥後、減圧濃縮した。得られた油状物をカラ ムクロマトグラフィー (Φシリカゲル (FL60D) 2 50g, ベンゼン-酢酸エチル (2:0→1:1→0: 1) ②塩基性アルミナ60g, ヘキサン-酢酸エチル (3:1→2:1→1:1→0:1)) にて順次精製す

高分解能質量スペクトル分析(FAB)

【0102】実施例19

859. 5569 (+0. 8mmu)

C48 H76 N4 O8 Na (MNa+)としての計算値

得られた。

CH₃ OH)

IR (CHC 1a)

化合物(14b)の合成 10mlのナス型フラスコに化合物(12)29mg (O. 059mmol) および化合物 (8b) 30mg (O. 059mmol)を量り取り、系内を窒素雰囲気 下とした後、無水ジクロロメタン0.50mlに溶解し た。0℃に冷却したこの溶液にトリフルオロ酢酸0.5 Om 1 を加えた後、室温にて 1 時間撹拌した。反応混合 物を減圧濃縮した後、ベンゼン2m1を加え減圧濃縮す る操作を5回行った。得られた粗アミンのトリフルオロ 酢酸塩と粗カルボン酸は、精製することなく次の反応に 用いた。10mlのナス型フラスコに上記の反応生成物 を入れ、系内を窒素雰囲気下とした後、無水ジメチルホ ルムアミドO. 50m1に溶解した。0℃に冷却したこ の溶液にジエチルリン酸シアニド0,015m1(0. 088mmo1), ついで無水トリエチルアミン0.0 40m1 (0.29mmol)を加えた後、0℃にて1 時間撹拌した。反応混合物に炭酸カリウム溶液 (p H 1

8 (5H, m), 1, 89-2, 16 (3H, m), 2. 24 (4. 8H, s), 2. 25 (1. 2H, s), 2. 90 (2H, d, J=6. 6Hz), 3. 0 2 (2.4H, s), 3.09 (0.6H, s), 3. 26-3.52(2H, m), 3.29(2.4H. s), 3. 32 (0. 6H, s), 3. 39 (2. 4 H, s), 3. 40 (0. 6H, s), 3. 68-5. 08 (10H, m), 6.84 (1H, d, J=9.2 Hz), 7. 15-7. 34 (10H, m) [0101] MS (FAB) m/z859 (MNa+, 100), 518 (15), 100 (58) 859.5561 1) 10 m l を加え、得られた溶液をベンゼン (2×1 0m1) にて抽出した。有機層を合わせ、水 (5m 1), 飽和塩化ナトリウム水溶液 (5m1) にて順次洗 浄し、乾燥後、減圧濃縮した。得られた油状物をカラム クロマトグラフィー 〔塩基性アルミナ6g, ヘキサン-酢酸エチル(2:1→3:2)〕、ついでカラムクロマ トグラフィー 〔シリカゲル3g、ベンゼンーアセトン

(10:1→4:1)]にて精製すると、目的の化合物

(14b) 44mg (収率89%) が無色油状物として

[0103] $(\alpha)^{26}$ -39. 8 (c0. 904,

3430, 3370 (br), 1730, 1655, 1

635, 1495, 1455, 1425, 1415, 1

HNMR (270MHz, CDCl₃) (rotam

240, 1165, 1095 cm-1

er ratio4:1)

のでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmの

m)

MS (FAB)

```
δ0. 76-1. 22 (20H. m), 1. 24-1.
43 (1H, m), 1. 27 (0. 6H, d, J=6.
9Hz), 1. 28 (2. 4H, d, J=6. 9H
z), 1.50-1.85(5H, m), 1.85-
2.68(7H, m), 2.24(4.8H, s),
2. 25(1. 2H, s), 2. 68-2. 97(2
H, m), 3. 02 (2. 4H, s), 3. 08 (0.
6H, s), 3. 23-3. 52 (2H, m), 3. 2
```

高分解能質量スペクトル分析(FAB)

859. 5549 (-1. 2mmu) C₄₈H₇₆N₄O₈Na(MNa⁴)としての計算値 859.5561 【0104】実施例20

イソドラスタチンH(21)の合成 15mlのボリアロビレン製試験管に化合物(13a) 7. 4mg (0.0075mmol)を量り取り、アセ トニトリルO. 10mlに溶解した。0℃に冷却したこ の溶液に47%フッ化水素酸0.20m1(5,4mm ○1)を加えた後、0℃にて30分間撹拌した。氷-飽 和炭酸水素ナトリウム水溶液(1:1)混合物5mlに 反応混合物をゆっくりと加えた。pH10になるまで炭 酸ナトリウムを加えた後、クロロホルム (3×10m 1)にて抽出した。有機層を合わせ飽和塩化ナトリウム 水溶液 (5m1) にて洗浄し、乾燥後、減圧濃縮した。 得られた油状物を分取薄層クロマトグラフィー〔シリカ ゲル、100×200×0. 25mm×1枚、クロロホ ルム-メタノール(10:1)〕るて精製すると、イソ ドラスタチンH (21) 5. 1mg (収率91%) が無 色無定形粉末として得られた。

【0105】無色プリズム状結晶 mp 84-85℃ (ヘキサン-CH2 C12) $(\alpha)^{28}$ ₀ -47.6° (c0.0514, CH₃0 H)

IR (CHC13) 3430(br), 1725, 1665, 1635, 1 495, 1455, 1410, 1255, 1095, 1 060 c m-1

HNMR (600MHz, C, D, 0.85(3H, t, J=7.3Hz), 0.87(3 H. t. J=7.3Hz), 0.94 (1H. d. J=7. 0Hz), 0. 96 (3H, d, J=7, 0H z), 1.05 (3H.d, J=6.6Hz), 1.0 7 (1H, m), 1. 11 (1H, d, J=7.0H z). 1. 20 (1H, m). 1. 22 (1H, m), 1. 22 (3H, d. J=7. 0Hz). 1. 40 (1 H, m), 1.47 (1H, m), 1.62 (1H, m), 1.63(1H, m), 1.70(1H, m), 1.86(1H, m), 1.90(1H, m), 1.9

高分解能質量分析(元素分析) 測定值

計算值

C. 65. 71; H. 9. 43; N. 7. 45 C41 H70 N4 O8 C, 65. 92; H, 9. 44; N, 7. 50

59(6), 428(11), 100(50)

2 (1H, m), 2. 01 (1H, m), 2. 10 (1 H, m), 2.19(6H, s), 2.29(1H. d, J=7. OHz), 2. 51 (1H, dq, J=1 0. 6, 7. 01Hz), 2. 73 (3H, s), 2. 77 (1H, dd, J=14.0, 6.2Hz), 2. 83 (1H, m), 2.93 (1H, dd, J=14. 0, 7. 5Hz), 3. 01 (1H, m), 3. 26 (3H, s), 3. 27 (3H, s), 3. 80 (1 H, ddd, J=13.0, 7.0, 6.2Hz) 3. 90 (1H, ddd, J=13. 0, 7. 5, 2. 4Hz), 4.13(1H, m), 4.20(1H, m), 4. 27 (1H, dd, J=10. 6. 1. 1H z), 4. 98 (1H, dd, J=8. 8, 7. 6H z), 4. 99 (1H, m), 5. 21 (1H, dd, J=7. 5, 7. 0Hz), 5. 54 (1H, m). 6. 68 (1H, d, J=8. 8Hz), 7. 03 (1 H, m), 7.10(2H, m), 7.12(2H,

9 (2.4H, s), 3.32 (0.6H, s), 3.

39 (2. 4H. s), 3. 41 (0. 6H, s),

3. 60-5. 09 (10H, m), 6. 86 (1H,

d. J=9. 2Hz), 7. 15-7. 34 (10H.

 $m/z837 (MH^{4}, 5), 100 (100)$

[0106]13C NMR (100MHz, C R DR) 10.9(q), 11.0(q), 14.8(q), 1 5.6(q), 16.1(q), 18.4(q), 2 0.3(q),24.3(t),25.0(t),2 5. 0(t), 26. 1(t), 27. 9(d), 3 2. 0 (q), 33. 2 (d), 37. 1 (d), 3 7.1(t), 37.9(t), 42.7(q), 4 6. 2 (d), 48. 0 (t), 53. 1 (d), 5 6.9(d).57.8(q),60.2(d),6 1.2(q),63.4(t),76.1(d),7 6.4(d),79.0(d),81.8(d),12 6.6(d), 128.5(d), 129.8(d), 137.7(s),170.7(s),171.1 (s), 172. 9(s), 174(s) [0107] MS (FAB) m/z769 (MNa', 100), 657 (8), 5

```
【0108】実施例21
エピイソドラスタチンH(24)の合成
 15mlのポリプロピレン製試験管に化合物(13b)
36. 3mg (0.0369mmol)を量り取り、ア
セトニトリルO.30m1に溶解した。O℃に冷却した
この溶液に47%フッ化水素酸0.80m1(22mm
○1)を加えた後、O℃にて1時間撹拌した。氷-飽和
炭酸水素ナトリウム水溶液 (1:1)混合物30m1に
反応混合物をゆっくりと加えた。p H 1 O になるまで炭
酸ナトリウムを加えた後、クロロホルム (3×30m
1)にで抽出した。有機層と合わせ飽和塩化ナトリウム
水溶液 (20m1) にて洗浄し、乾燥後、減圧濃縮し
た。得られた油状物を分取薄層クロマトグラフィー〔シ
リカゲル、100×200×0. 25mm×4枚、クロ
ロホルムーメタノール (30:1)] にて特製すると、
エピイソドラスタチンH (24) 26.2mg (収率9
5%) が無色無定形粉末として得られた。
[0109](\alpha)^{26} -53.8^{\circ}(c0.052)
0, CH3 OH)
IR (CHC 1a)
3430 (br), 1725, 1665, 1635, 1
495, 1455, 1410, 1095 cm-1
1HNMR (600MHz, CH<sub>2</sub> OH)
\delta0. 88 (6H, t, J=7. 3Hz), 0. 97
(3H, d, J=7.0Hz), 0.98(3H, d.
J=6.6Hz), 1.07 (1H, m), 1.08
(3H, d, J=7. OHz), 1. 12 (3H, d,
J=6.6Hz), 1.25 (1H, m), 1.30
(3H, d, J=7.0Hz), 1.37(1H,
m), 1. 43 (1H, m), 1. 57 (1H, m),
1.60(1H, m), 1.74(1H, m), 1.7
```

H, m), 2. 04 (1 H, dqq, J=7.0, 7.
高分解能質量スペクトル分析 (FAB) 測定値 747.5269 (-0.3 mmu) Cu H₁ N₄ Og (MH+)としての計算値 747.5272 高分解能質量分析 (元素分析) 測定値 C. 65.80; H, 9.58; N, 7.50

【0111】実施例22 ドラスタチンH (22) の合成 100mlのナス型フラスコに化合物 (14a) 451

7 (1H, m), 1.89 (1H, m), 1.91 (1

100mlのナス型フラスコに化合物(14a)45 mg

(0.540mmo1)を量り取り、メタノール12m 1、木5m1、および酢酸3.5m1を加え溶解たた この溶液へ10%パラジウム・炭素「Pd/C)101 mgを加え、系内を水素雰囲気下とした後、室温にて1 時間激しく操拝した。メンプランフィルターにて反応混 合物をう遇し、残渣をメタノール5m1にて洗浄した。 100m1のナス型フラスコにろ液と洗液を入れ、この

0.7.0Hz), 2.21(6H, s), 2.22 (2H, m), 2.33 (1H, d, J=7.0H z), 2. 56 (1H, dq, J=8. 6, 7. 0H z), 2.78(3H, s), 2.92(1H, m), 3. 01 (1H, dd, J=13. 5, 7. 7Hz), 3. 07 (1H, dd, J=13. 5. 6. 6Hz). 3. 10 (1H, m), 3. 20 (3H, s), 3, 3 0 (3H, s), 3. 64 (1H, dd, J=12. 6.4.9Hz), 3.92(1H, dd, J=12. 6, 2. 4Hz), 4. 10 (1H, dd, J=8, 6, 2. OHz), 4. 16 (1H, m), 4. 57 (1H, ddd, J=8.6, 4.0, 2.0Hz), 5. 00 (1H, m), 5. 02 (1H, m), 5. 2 4 (1H, m) 6. 79 (1H, d, J=9. 2H z), 7. 04 (1H, m), 7. 12 (2H, m), 7, 22 (2H, m) [0110] 13 CNMR (100MHz, C6 D6) $\delta 11.0(q), 11.1(q), 13.1(q)$ 15.7(q), 16.2(q), 18.4(q), 2 0.3(q), 24.7(t), 25.1(t), 2 4.9(t), 26.1(t), 27.9(d), 3 1.8(q), 33.2(d), 36.6(t), 3 7.6(d),38.1(t),42.7(q),4 3.4(d),47.8(t),53.1(d),5 7.4(d), 57.9(q), 60.6(d), 6 0.8(q),62.5(t),76.3(d),7 7. 2 (d), 79. 2 (d), 82. 0 (d), 12 6.7(d), 128.7(d), 129.9(d), 137. 9 (s), 170. 3 (s), 171. 1 (s), 173.8(s), 174.0(s) MS (F AB) m/z747 (MH+, 20), 100 (100)

C. 16.5. 80: ボリッ・58: N. 7. 50 溶液へ10 SP d/C1 9 Tm g を加え系内を水業雰囲 気下とした後、窒温にて7 5分間激化く復年した。この 溶液に10 SP d/C1 5 2 m を変加え 室温にて1 7時間4 り分離しく復年した。この m を加え溶解した。 大タール1 2 m 5 m 1 を加え溶解した。 大タール2 m 1 を加え溶解した。 大タール2 0 m 1 にて洗浄土た後み液と洗液を合わせ アフィルターにて反応混合物をう造し、浸液をが使した。 大学・1 (2: 1 ー 1: 1 ー 0: 1))にて精製すると、ドラス・1 (塩・1: 1 ー 0: 1))にて精製すると、ドラス・1 (2: 1 ー 1: 1 ー 0: 1))にて精製すると、ドラス・1 (2: 1 ー 1: 1 ー 0: 1) ③ 8 m g (収集 7 7 %) が無色無定

形物末として得られた。 【0112】(α)²⁸₅ -48.0°(c0.061 4.CH₃OH) IR(CHCl₃)

3430 (br), 1730, 1665, 1635, 1 495, 1455, 1410, 1255, 1095, 1 060cm⁻¹

HNMR (600MHz, $C_6 D_6$) (rotamer ratio18:1, major rotamer $\sigma_{\pi,\pi,\pi,m}$

δ0.86 (3H, t, J=7.7Hz), 0.88 (3H. t. J=7, 7Hz), 0.93 (1H, d, J=7. OHz), 0. 96 (3H, d, J=7. OH z), 1.06 (3H, d, J=6.6Hz), 1.0 6 (1H, m), 1. 11 (1H, d, J=7. 0H z), 1. 21 (1H, m), 1. 23 (1H, m), 1. 30 (3H, d, J=7. 0Hz), 1. 41 (1 H, m), 1. 48 (1H, m), 1. 57 (1H, m). 1.63(1H, m), 1.71(1H, m), 1.86(1H, m), 1.90(1H, m), 1.9 1 (1H, m), 2. 02 (1H, m), 2. 11 (1 H, m), 2. 19 (6H, s), 2. 30 (1H, d, J=7.0), 2.57 (1H, dq. J=10. 3, 7. 0Hz), 2. 58 (1H, dd, J=13.5, 6.6Hz), 2.73(3H, s), 2.8 4 (1H, dd, J=13. 5, 6. 6Hz), 2. 8 4 (1H, m), 3.00 (1H, m), 3.25 (3

多数对外,也是这种是一个人的,我们就是一个人的,也不是一个人的,也是一个人的,也是一个人的,也是一个人的,也是一个人的,也是一个人的,也是一个人的,也是一个人的

H, s), 3. 27 (3H, s), 3. 76 (1H, d 高分解能質量スペトクル分析(FAB) 瀬宇値 769.5079 (-1.2 mmu)

C₄₁H₇₀N₄O₈Na (MNa⁺)としての計算値 769.5091

高分解能質量分析(元素分析) 計算値

值 C, 65.80; H, 9.59; N, 7.45 值 C₄₁ H₇₀ N₄ O₈: C, 65.92; H, 9.44; N, 7.50

計算値 【0114】実施例23 エピドラスタチンH (23)の合成 30mlのナス型フラスコに化合物(14b)17mg (0.020mmo1)を量り取り、メタノール1.0 m 1 および酢酸 0.25 m 1 を加え溶解した。この溶液 へ10%パラジウムー炭素42mgを加え、系内を水素 雰囲気下とした後、室温にて38時間激しく攪拌した。 メンブランフィルターにて反応混合物をろ過し、残渣を メタノール10m1にて洗浄した。ろ液と洗液を合わせ 減圧濃縮した。得られた油状物をカラムクロマトグラフ ィー〔シリカゲル1.3g、ヘキサンー酢酸エチルーメ タノール (20:20:1→10:10:1) 〕 ついで カラムクロマトグラフィー (セファデクスLH-20 1.5g、ジクロロメタン-メタノール(1:1)]に て精製すると、エピドラスタチンH (23) 11mg (収率73%)

d, J=11.0,1.9Hz).4.12(1H, m), 4, 28 (1H, ddd, J=6, 3, 4, 2, 1. 5Hz), 4. 29 (1H, dd, J=10. 3, 1.5Hz). 4.35(1H, m), 4.60(1 H. dd. J=11, 0, 9, 5Hz), 4, 99 (1 H, dd, J=8.8, 8.1Hz), 4.99(1 H. m). 5. 26 (1H, d, J=3. 4Hz). 6.72 (1H, d, J=8.8Hz), 7.07 (1 H, m), 7.09-7.21(4H, m) [0113]13CNMR (100MHz, Cs Os) (r otamer ratio18:1)11.0(q), 11.0(a).14.9(q).15.6(q).1 6. 1 (q), 18. 4 (q), 20. 3 (q), 2 4.3(t), 25.0(t), 25.0(t), 2 6. 1(t), 27. 9(d), 32. 0(q), 3 3.4(d), 37.7(d), 38.0(t), 4 0.1(t),42.7(q),45.5(d),4 7. 9(t), 53. 1(d), 57. 0(d), 5 7, 7(q), 60, 3(d), 61, 1(q), 6 9.5(t), 70.2(d), 76.2(d), 7 8.8(d).81.6(d),126.4(d),1 285. (d), 129. 8 (d), 138. 9 (s), 170.7(s), 171.1(s), 17 3.4(s), 174.0(s), MS (FAB) m/z769 (MNa+, 100), 657 (10),

92: H, 9. 44: N, 7. 50 [0115] (α)²⁶₉ -52. 1° (c0. 064 5. CH₉ OH) IR (CHCl₃) 3430 (br). 1730. 1665. 1635. 1495. 1455. 1410. 1245. 1095. 1 060 cm⁻¹

559 (5), 428 (12), 100 (62)

'IHNMR (600MHz. C₆ D₆)

\$0.86 (3H, t. J=7.5Hz). 0.89
(3H, t. J=7.5Hz). 0.97 (6H, d.
J=6.8Hz). 1.04 (3H, d. J=6.6H
z). 1.06 (1H, m). 1.12 (3H, d. J
=6.6Hz). 1.23 (2H, m). 1.34 (3
H, d. J=7.0Hz). 1.43 (1H, m).
1.47 (1H, m). 1.59 (1H, m). 1.6
(1H, m), 1.71 (1H, m). 1.87 (2
H, m), 1.91 (1H, m). 2.02 (1H, d

gg, J=7.0,6.8,6.6Hz),2.10 (1H, m), 2. 20 (6H, s), 2. 30 (1 H, d, J=7.0Hz), 2.58(1H, dq, J =10.6,7.0Hz),2.72(3H,s), 2. 78 (1H, dd, J=13.7, 5.5Hz), 2.83(1H, m), 3.01(1H, m), 3.0 3 (1H, dd, J=13. 7. 8. 1Hz), 3. 2 6 (3H, s), 3. 29 (3H, s), 3. 68 (1 H, dd, J=11.0,6.4Hz),4.14(2 H, m), 4. 18 (1H, m), 4. 27 (1H, d d, J=10.6,1.1Hz),4.82(1H,d d, J=11.0, 2.2Hz), 4.98(1H, m), 5.00 (1H, m), 5.21 (1H, d, J =6.2Hz), 6.72(1H, d, J=8.8H z), 7. 11 (1H, m), 7. 20 (2H, m), 7.31(2H.m)

[0116]13CNMR (100MHz, C6 D6)

高分解能質量スクトル分析 (FAB) 769. 5086 (-0. 5mmu) C₄₁H₇₀N₄O₈Na(MNa⁴)としての計算値 769.5091

高分解能質量分析(元素分析)

測定值 $C_{41}H_{70}N_4$ O_8 : C, 65. 92: H, 9. 44; N, 7. 50 計算值

【0118】実施例24

製剤例 ドラスタチンH、イソドラスタチンH、エピイソドラス タチンHもしくはエピイソドラスタチンH1武、ポリソ ルベート80を1部及びD-マンニトール20部を注射 用蒸留水2000部に溶解し、メンブランフィルターで ろ過し後バイアルに分注して、常法により凍結乾燥しゴ δ11.0(q),11.1(q),14.7(q), 15, 6 (q), 16, 1 (q), 18, 3 (q), 2 0.4(q),24.3(t),24.9(t)25. 0(t), 26.1(t), 27.9(d), 32.0 (q), 33. 4 (d), 37. 7 (d), 38. 0 (t), 40.3(t), 42.8(q), 45.6 (d), 47. 9 (t), 53. 1 (d), 57. 1 (d), 57. 9 (d), 60. 2 (d), 61. 1 (q), 69. 1 (t), 70. 8 (d), 76. 3 (d), 78.8(d), 81.7(d), 126.4 (d), 128, 5 (d), 129, 9 (d), 13 9. 3(s), 170. 3(s), 171. 1(s), 173.4(s), 173.9(s) [0117] MS (FAB) $m/z769 (MNa^{+}, 3), 747 (MH^{+},$

5), 100 (100)

C, 65. 79; H, 9. 70; N, 7. 56

ム栓で密封して注射用製剤を得た。 [0119]

【発明の効果】本発明の式(20)で表わされる化合物 又はその薬学的に許容される塩は特に抗腫瘍活性を有 し、この化合物を含む医薬は特に抗腫瘍剤として有用で ある。